

1. 口分田 2. 公田 3. 位田 4. 私田

1. 墾田永年私財法が制定されたことで、貴族や寺院による大規模な土地の私有が進み、荘園が広がるきっかけとなった。
2. 班田収授の法が制定されたことで、農民に口分田が与えられるようになり、公地公民の原則が確立された。
3. 三世一身の法が制定されたことで、三代にわたる土地の私有が認められ、農民の開墾意欲が永続的に維持されるようになった。
4. 太閤検地が実施されたことで、土地の所有者が確定し、年貢を納める責任者が明確になった。

1. 公地公民 2. 地租改正 3. 検地 4. 封建制度

1. 奈良時代にまとめられた歌集で、防人の歌など地方の人々の歌も収録されている。
2. 平安時代に紀貫之らによって編纂された、最初の勅撰和歌集である。
3. 鎌倉時代に後鳥羽上皇の命でまとめられた、情景の美しさを強調する歌集である。
4. 飛鳥時代に天武天皇の命で編纂が始まった、日本で最も古い歴史書である。

1. 租 2. 庸 3. 調 4. 公事

1. 疫病の流行や反乱などの社会的不安を、仏教の力によって鎮めようと考えたため。	2. 遣隋使によってもたらされた新しい仏教の教えを、国民に広く普及させるため。	3. 蘇我氏などの有力豪族が持つ権力を抑え、天皇中心の中央集権体制を確立するため。	4. 大陸から伝わった高度な鑄造技術を誇示し、近隣諸国に対して国威を示そうとしたため。
--	---	---	---

1. 戸籍に登録された6歳以上の男女に与えられ、本人が死ぬと国に返還する決まりだった。
2. 戸籍に登録された15歳以上の男子のみに与えられ、子孫が代々受け継ぐことができた。
3. 新しく土地を開墾した者に与えられ、その者の私有地として永久に所有することが認められた。
4. 有力な貴族や寺院に対してのみ与えられ、その収穫はすべて個人の利益となった。

1. 正しい戒律を伝えて僧侶の資格を厳格化し、律宗を広めて仏教界の秩序を整えるため
2. 比叡山に延暦寺を建立し、天台宗の教えによって国家の安泰を図るため
3. 困窮する人々のために橋の建設や社会事業を行い、民衆への布教を直接促すため
4. 真言宗の教えを広めることで、貴族だけでなく広く地方の武士にも信仰を浸透させるため

1. 漢 2. 魏 3. 唐 4. 宋

1. 唐 2. 宋 3. 元 4. 明

1. 日本の国のおこりや、天皇が国を治めることの正当な由来を明らかにするため	2. 地方の産物や地理、伝承などを記録して、中央政府が地方の実態を把握するため	3. 防人や貴族など、幅広い身分の人々が詠んだ和歌を収集し、文化を保存するため	4. 仏教による鎮護国家の思想を広め、社会の不安や疫病を鎮めるため
--	---	---	-----------------------------------

1. 墾田永年私財法 2. 三世一身の法 3. 公事方御定書 4. 武家諸法度

1. 万葉集 2. 懷風藻 3. 古今和歌集 4. 新古今和歌集

1. 平城京 2. 平安京 3. 藤原京 4. 難波宮

答え合わせ・解説

問1	答え 1 口分田	律令国家の基本方針である「公地公民」の原則に基づき、政府は人々に生活の基盤となる土地を割り当てました。この土地を口分田と呼び、6歳以上の男女に一定の面積が与えられ、その代償として租（稲の収穫の約3%）などの税を納める義務を負わせました。
問2	答え 1 墾田永年私財法が制定されたことで、貴族や寺院による大規模な土地の私有が進み、荘園が広がるきっかけとなった。	奈良時代、人口の増加に伴い、政府が農民に分け与える土地（口分田）が不足しました。これに対処するため、743年に「墾田永年私財法」が制定され、新しく開墾した土地の永久私有が認められました。この法により、豊富な財力を持つ貴族や寺院が大規模な土地を所有する「荘園」が形成されるようになり、それまでの「すべての土地と人民は国家のもの」とする公地公民の原則が崩れていくことになりました。
問3	答え 1 公地公民	大化の改新から律令国家の形成過程において、それまで豪族が私有していた土地や人民を国家が直接管理する方針が示されました。これが公地公民の原則です。この原則があるからこそ、国家は人民に「口分田」を貸し出し、死後には返還させるという再分配のシステムを運用することができました。
問4	答え 1 奈良時代にまとめられた歌集で、防人の歌など地方の人々の歌も収録されている。	万葉集には、大宰府で「梅花の宴」を開いた大伴旅人や山上憶良といった貴族の歌のほかに、東国から九州へ派遣された「防人」の切実な思いを詠んだ歌が多数収録されています。このように、身分を問わず多様な人々の作品が集められている点が、後の勅撰和歌集（古今和歌集など）とは異なる大きな特徴です。
問5	答え 3 調	律令制下における税制のうち、布や塩、海産物、木綿といった各地の特産物を都に納める負担を「調」と呼びます。平城京跡からは、肥後国（現在の熊本県）から調として木綿が送られたことを示す木簡が発見されており、当時の物流や税制の仕組みを裏付ける貴重な資料となっています。一方、「租」は田の面積に応じて稲を納めるもの、「庸」は都での労役に代えて布などを納めるものです。
問6	答え 1 疫病の流行や反乱などの社会的不安を、仏教の力によって鎮めようと考えたため。	当時の日本は、天然痘（疫病）の爆発的な流行や、藤原広嗣の乱といった政治的混乱の中にありました。聖武天皇は、このような災いから国家を救うために鎮護国家の思想にすがり、東大寺を全国の国分寺の総本山と位置づけて大仏を建立しました。
問7	答え 1 戸籍に登録された6歳以上の男女に与えられ、本人が死ぬと国に返還する決まりだった。	大化の改新以降、土地と人々はすべて天皇のものとする「公地公民」の原則が立てられました。これに基づき、政府は戸籍を作成して人々の把握に努め、6歳以上の男女に一定の土地（口分田）を貸し与える班田収授法を実施しました。この土地はあくまで国から借りているものという位置づけであったため、本人が亡くなると国に返す必要がありました。
問8	答え 1 正しい戒律を伝えて僧侶の資格を厳格化し、律宗を広めて仏教界の秩序を整えるため	当時の日本では、税を逃れるために勝手に僧侶を名乗る者が増えたことが社会問題となっていました。そのため、国家は唐から高僧である鑑真を招き、正式な儀式（授戒）を経て僧侶となる仕組みを確立させました。これにより、仏教界の質と規律が向上しました。なお、天台宗は最澄、真言宗は空海、社会事業は行基に関連する内容です。
問9	答え 3 唐	日本は7世紀初めから遣隋使を送り、隋が滅んだ後は唐に使節（遣唐使）を送りました。唐の優れた政治制度や文化は、当時の日本の国づくりに大きな影響を与え、国際色豊かな「天平文化」などが発展するきっかけとなりました。
問10	答え 1 唐	奈良時代、日本は遣唐使を派遣するなどして、中国の「唐」の制度や文化を積極的に取り入れました。貨幣についても唐の「開元通宝」をモデルとして、708年に「和同開珎」がつくられました。都である平城京には、各地の産物が集まる東の市・西の市が設けられ、貨幣を用いた交易が推進されました。
問11	答え 1 日本の国のおこりや、天皇が国を治めることの正当な由来を明らかにするため	律令制度によって国家の仕組みが整えられたこの時期、国内外に対して日本の成り立ちや、天皇が日本を統治する根拠を説明する必要が生じました。そのため、神話や伝承、過去の出来事をまとめた『古事記』や、中国の歴史書にならって編年体で記された『日本書紀』が作成されました。なお、地方の地理などを記したものは『風土記』、和歌を集めたものは『万葉集』です。
問12	答え 1 墾田永年私財法	人口が増加したことで、それまでの班田収授法による公地の分配が困難になりました。政府は土地不足を解消するため、開墾を奨励する目的でこの法令を出し、土地の永久私有を認めました。これがきっかけとなり、のちに「荘園」と呼ばれる私有地が拡大することになります。
問13	答え 1 万葉集	山部赤人は、柿本人麻呂とともに「歌聖」と称される奈良時代の歌人です。この歌集には、彼のような宮廷歌人による格調高い作品から、地方の民謡に近い「東歌（あずまうた）」まで、多様な層の歌が収められています。平安時代に編纂された日本初の「勅撰和歌集」である古今和歌集とは、編纂された時代や収録されている歌風が異なります。
問14	答え 1 平城京	元明天皇の時代に、それまでの藤原京から遷都された都です。唐の都である長安を模した大規模な都市計画がなされており、日本の律令国家としての体制が整えられた時期の象徴的な場所です。図で見ると左京のさらに東に張り出している「外京」には、東大寺や興福寺といった大寺院が建立されました。

- 問1 奈良時代、聖武天皇の時代を中心に栄えた天平文化の特徴を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 沖縄公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 遣唐使によってもたらされた唐の文化の影響を強く受け、国際色豊かな特色を持っている。 | 2. 武士の気風を反映した力強い文化で、運慶らによる写実的な彫刻が制作された。 | 3. 国風文化が発達し、仮名文字を用いた文学や、日本的な風景を描く大和絵が生まれた。 | 4. 幕府の保護を受けた禅宗の影響により、簡素で気品のある東山文化が栄えた。 |
|--|---|--|--|
- 問2 奈良時代末期に大伴家持らによって編纂されたとされる、日本に現存する最古の歌集として適切なものを次のうちから選びなさい。 (2022年 大阪公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|----------|-----------|---------|
| 1. 万葉集 | 2. 古今和歌集 | 3. 新古今和歌集 | 4. 日本書紀 |
|--------|----------|-----------|---------|
- 問3 奈良時代の国際的な文化を象徴する事例として、東大寺の正倉院には当時の貴重な宝物が数多く保管されています。これらの宝物の特徴について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 遣唐使を介して、ペルシャ（イラン）など西アジアの影響を受けた工芸品や楽器が含まれている | 2. 宋との貿易を通じて輸入された、青磁や白磁などの磁器が大部分を占めている | 3. 縄文時代からの伝統的な土器が、仏教文化と融合して独自の変化を遂げたものが中心である | 4. キリスト教の伝来に伴い、ヨーロッパの宣教師が持ち込んだ聖書や地図が数多く残されている |
|--|--|--|---|
- 問4 平城宮跡から出土した木簡（文字の書かれた木札）に、現在の和歌山県にあたる地域から「調」として「塩」が送られたことを示す記録があります。このように、当時の税が都へ運ばれた状況について説明した文として、正しいものはどれですか。 (2022年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 律令国家の仕組みにより、地方の特産物が納税者によって都まで運搬された | 2. 遣唐使が唐から持ち帰った塩などの生活必需品を、都から地方へ供給した | 3. 日明貿易の輸入品である塩が、堺や博多の商人を通じて都へ持ち込まれた | 4. 琉球王国の使節が、外交の儀礼として各地の特産物を都の貴族へ贈呈した |
|---------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
- 問5 奈良時代に編纂が命じられた『風土記』の目的や内容について、当時の国家の背景と関連させた説明として最も適切なものはどれか、次の中から選びなさい。 (2026年 栃木公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 律令国家としての地方支配を強めるため、各地の資源や土地の状況、文化的な背景を中央政府が把握すること。 | 2. 仏教による国家の安定を図るため、各地に建立する国分寺のふさわしい場所を調査し、聖武天皇に報告すること。 | 3. 天皇の権威を海外に示すため、日本の成り立ちや神話を体系的にまとめ、遣唐使を通じて唐に伝えること。 | 4. 班田収授法を円滑に実施するため、各地の戸籍や計帳を作成し、それをもとに口分田を割り当てること。 |
|---|--|---|--|
- 問6 『万葉集』には、家族を残して九州北部の防衛に向かう悲しみを綴った「防人（さきもり）」の歌が数多く収録されています。当時、このように人々が防人として九州へ派遣されることになった歴史的な背景として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 岐阜公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れた後、日本への侵攻に備えて九州の警備を強化する必要があったため。 | 2. 平将門の乱や藤原純友の乱が発生し、西日本一帯の治安が急激に悪化したため。 | 3. 元寇（モンゴルの襲来）が発生し、沿岸部での石築地（元寇防壁）の構築に大量の労働力が必要となったため。 | 4. 東北地方の蝦夷（えみし）を服従させるため、西日本の農民を兵士として東北へ送る中継基地が九州に置かれたため。 |
|---|---|---|--|
- 問7 8世紀初頭の710年に、唐の都である長安をモデルとして奈良の地に遷された都を何といいますか。712年に『古事記』が編纂された際の政治の中心地としても知られています。 (2018年 鳥取公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 平城京 | 2. 藤原京 | 3. 長岡京 | 4. 平安京 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問8 708年、唐の貨幣である開元通宝にならって日本で鑄造され、新たな都の造営などに際して広く流通させようとした、わが国で最初期に発行された貨幣の名称を答えなさい。 (2019年 大阪公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|---------|---------|
| 1. 和同開珎 | 2. 富本銭 | 3. 寛永通宝 | 4. 天保通宝 |
|---------|--------|---------|---------|
- 問9 律令国家の税制において、国家が「口分田」を農民に貸し出す代わりに、「租」を徴収する仕組みを維持するために最も重要視された基盤はどれですか。 (2025年 岐阜公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|---------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|
| 1. 戸籍を作成し、一人ひとりの年齢や性別を把握すること | 2. 関所を設置し、各地の特産品が都へ運ばれるのを管理すること | 3. 貨幣経済を浸透させ、稲ではなく銭で納税させること | 4. 大規模な寺院を建立し、僧侶に土地の管理を委託すること |
|------------------------------|---------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|
- 問10 723年に制定された「三世一身の法」において、新しく土地を開墾した人々に認められた権利と、その後に生じた課題の説明として最も適切なものはどれですか。 (2025年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 開墾した土地の私有を三代（または本人一代）という一定の期間に限り認めたが、期限が来ると国に返還しなければならず、開墾意欲が低下する原因となった。 | 2. 開墾した土地を期限なく永久に私有することを認めたが、有力な貴族や寺院が広大な土地を独占したため、農民の生活が苦しくなった。 | 3. 開墾した土地の収穫物をすべて自分のものにすることを認めたが、土地そのものの所有権は認められなかったため、管理が不十分になった。 | 4. 開墾した土地の私有を認める代わりに、その土地で収穫された稲のすべてを税として納めさせたため、開墾を途中で放棄する者が相次いだ。 |
|---|--|--|--|
- 問11 律令制のもとで整備された税制において、各地の特産物である布や塩などを、納税者が自ら都まで運んで納める義務があった税を何と呼びますか。 (2023年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|------|------|-------|
| 1. 租 | 2. 庸 | 3. 調 | 4. 雑徭 |
|------|------|------|-------|
- 問12 奈良時代、聖武天皇の時代を中心に栄えた文化について、仏教の影響を強く受け、唐の文化やシルクロードを経由した西アジアなどの影響も取り入れた、国際色豊かな文化の名称として正しいものを選びなさい。 (2024年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|------------|
| 1. 飛鳥文化 | 2. 天平文化 | 3. 国風文化 | 4. 弘仁・貞観文化 |
|---------|---------|---------|------------|
- 問13 奈良時代に現在の宮城県に設置された多賀城が担っていた役割について、当時の社会情勢を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 東北地方における行政管理に加え、北方への備えや支配拡大のための軍事拠点としての役割 | 2. 遣唐使を派遣するための港の管理や、大陸からの使節を接待する外交窓口としての役割 | 3. 聖武天皇の命により、全国の国ごとに設置された仏教による国内安定の拠点としての役割 | 4. 幕府が直接支配する領地として、金銀などの鉱山資源を管理・輸送する経済的な役割 |
|--|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 遣唐使によってもたらされた唐の文化の影響を強く受け、国際色豊かな特色を持っている。	天平文化は、当時の中国である唐との活発な交流により、その先進的な文化や制度を積極的に取り入れました。唐にはさらに西方の文化も流入していたため、日本の天平文化も西アジアやインドなどの影響を含んだ国際色豊かなものとなりました。
問2	答え 1 万葉集	奈良時代の天平文化を代表する作品であり、全20巻から構成されています。大伴家持が最終的な編集に関わったと考えられており、約4500首もの歌が収められています。平安時代に編集された古今和歌集などと混同しないよう注意が必要です。
問3	答え 1 遣唐使を介して、ペルシャ（イラン）など西アジアの影響を受けた工芸品や楽器が含まれている	当時の日本は遣唐使を派遣し、唐だけでなくシルクロードを経由して伝わった西アジアや中央アジアの文化も取り入れました。正倉院に収められた「螺鈿紫檀五絃琵琶」やガラス製品などは、当時の日本が大陸との交流を通じて国際色豊かな文化（天平文化）を築いていたことを示しています。
問4	答え 1 律令国家の仕組みにより、地方の特産物が納税者によって都まで運搬された	出土した木簡にある「調」とは、律令国家が地方の特産物の納入を命じた税の仕組みを指します。木簡には「紀伊国（和歌山県）」から「塩」が運ばれたことが記されており、当時の道路網を利用して、地方の産物が遠方の都まで組織的に運ばれていた実態を示しています。これは当時の人々に課された重い負担の一つでもありました。
問5	答え 1 律令国家としての地方支配を強めるため、各地の資源や土地の状況、文化的な背景を中央政府が把握すること。	奈良時代は「律令国家」としての体制を整備していた時期であり、中央政府は全国の土地や人々を直接支配しようとしていました。そのため、各地方の地理的条件や特産品（税として納められるもの）、さらにはその土地に古くから伝わる歴史や文化を把握することは、行政を円滑に進め、国家の支配を隅々まで及ぼすために非常に重要でした。
問6	答え 1 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れた後、日本への侵攻に備えて九州の警備を強化する必要があったため。	7世紀後半、日本は「白村江の戦い」で唐・新羅の連合軍に敗北しました。これにより、大陸側からの報復や侵攻を恐れた朝廷は、九州北部に大宰府を置き、山城（水城など）を築くとともに、東国などの農民を「防人」として徴用し、九州沿岸の警備にあたらせました。万葉集に収められた「防人の歌」には、重い負担や家族と離れる悲しみが切実に詠まれており、当時の対外緊張と民衆の苦難を裏付ける資料となっています。
問7	答え 1 平城京	元明天皇によって、それまでの藤原京から現在の奈良市付近へと遷都された都です。碁盤の目のように区画された「条坊制」が採用され、律令国家の体制を整える象徴となりました。この都が置かれた約70年間で、一般に奈良時代と呼び、同時期には『古事記』や『日本書紀』などの歴史書、歌集である『万葉集』などがまとめられました。
問8	答え 1 和同開珎	奈良時代の直前である708年に、武蔵国から銅が献上されたことをきっかけに鑄造されました。唐の貨幣制度を取り入れることで律令国家としての体制を整える狙いがあり、当時建設が進められていた平城京周辺で主に流通しました。
問9	答え 1 戸籍を作成し、一人ひとりの年齢や性別を把握すること	「租」を確実に徴収するためには、誰にどれだけの面積の口分田を与えるべきかを正確に判断する必要があります。そのため、政府は「戸籍」を作成して民衆の性別や年齢を把握し、それに基づき「班田収授の法」を運用しました。この人身把握の仕組みが律令国家の財政を支える根幹となっていました。
問10	答え 1 開墾した土地の私有を三代（または本人一代）という一定の期間に限り認めたが、期限が来ると国に返還しなければならず、開墾意欲が低下する原因となった。	三世一身の法は、人口増加による口分田の不足を解消するために、開墾を奨励する目的で制定されました。しかし、この法律による私有の制限は「一定の期間」のみであり、期限が近づくと土地が荒廃したり、開墾の手が止まったりするなどの問題が発生しました。この反省から、後に永年私有を認める墾田永年私財法が制定されることとなります。
問11	答え 3 調	律令制度における中心的な税の一つです。米を納める「租」は地方の倉庫に保管されましたが、「調」は絹や布、塩、魚介類といった各地の特産物を都まで運ぶ必要がありました。この際、都までの食料や運搬の費用は納税者が負担したため、庶民にとって非常に重い負担となりました。
問12	答え 2 天平文化	聖武天皇は仏教の力で国家の安定を図る「鎮護国家」の思想を推進しました。遣唐使によってもたらされた唐の進んだ文化や、さらに西方の国際的な要素が融合し、平城京を中心に華やかな文化が展開されました。これが天平文化です。
問13	答え 1 東北地方における行政管理に加え、北方への備えや支配拡大のための軍事拠点としての役割	多賀城は、朝廷の支配がまだ十分ではなかった東北地方において、租税の徴収や戸籍の作成といった「行政」を行う場所であると同時に、対立していた蝦夷（えみし）からの攻撃を防ぎ、さらに北へと勢力を広げるための「軍事」の最前線でした。このように、辺境の地には中央政府の力を示すための強力な権限を持った役所が配置されました。

- 問1 律令制度のもとで実施された税制について、平城京跡から発見された荷札用の木簡の調査からわかる当時の状況として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 静岡公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|---|
| 1. 収穫した稲の一部を、その土地の役所に納めることが義務付けられていた。 | 2. 都での労役の代わりに、麻布などの布を納めることが認められていた。 | 3. 肥後国の木綿など、地方の特産品を荷札とともに都へ届ける負担があった。 | 4. 地方の豪族が、自分の領地の農民に対して独自に課した労働奉仕のことである。 |
|---------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|---|
- 問2 律令国家が「班田収授法」を定め、戸籍に基づいて6歳以上の男女に口分田を与えた目的と、その背景にある仕組みの説明として最も適切なものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------------|--------------------------------------|--|
| 1. 農民を土地に結びつけて確実に把握し、租などの税を安定して徴収するため。 | 2. 貴族や寺社に広い私有地を与え、地方の開墾を効率的に進めさせるため。 | 3. 土地の売買を自由化することで流通を活発にし、国家の財政を潤すため。 | 4. 能力の高い農民に多くの土地を優先的に配分し、農業の生産性を高めるため。 |
|--|--------------------------------------|--------------------------------------|--|
- 問3 律令制の崩壊過程において、農民が税負担から逃れるためにとった行動のうち、戸籍そのものを偽るのではなく、本籍地を離れて他国へ移動し、他人の家や寺社などに身を寄せる行為を何といいますか。 (2018年 徳島公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 浮浪 | 2. 偽籍 | 3. 班田 | 4. 防人 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問4 律令制のもとで、中央政府から地方の国々に派遣され、徴税や裁判などの行政を担った官職を何といいますか。地元の有力豪族が任命された郡司を指揮・監督した立場を指す名称として正しいものを、次のなかから選びなさい。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 国司 | 2. 守護 | 3. 地頭 | 4. 県令 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問5 奈良時代の文化が、のちの平安時代に栄えた「国風文化」と比較して「国際色豊かな文化」と評される最大の要因は何か。 (2016年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 遣唐使が唐の都である長安の国際的な文化や、西アジア、インドなどから伝わった文物を日本へ持ち帰ったから。 | 2. 平氏による日宋貿易が盛んになり、中国から宋銭や陶磁器が大量に流入して庶民の生活を変えたから。 | 3. 独自の文字である「かな文字」が考案されたことで、日本の風土に合った文学作品が数多く生まれたから。 | 4. 幕府がキリスト教を禁止し、出島を通じたオランダや中国との貿易のみを許可する政策をとったから。 |
|--|---|---|---|
- 問6 聖武天皇が東大寺に巨大な仏像（大仏）を造立することを決意した背景には、当時の社会情勢が深く関わっています。その背景として適切な説明を選んでください。 (2026年 千葉公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 天然痘の流行や飢饉、貴族による政変が続き、それらの災いを仏教の力で鎮めたいと考えたため | 2. 武士の勢力が増大し、その力を抑えるために仏教を国の最高位の教えとして再編しようとしたため | 3. 大陸との国交を断絶したことで日本独自の文化が衰退し、改めて唐の文化を取り入れる象徴とするため | 4. 日本各地でキリスト教が広まり始め、それに対抗するために仏教寺院のネットワークを強化したかったため |
|--|---|---|---|
- 問7 奈良時代、聖武天皇が都に東大寺を建立し、さらに全国へ国分寺・国分尼寺を建てるよう命じた理由として、当時の背景をふまえた最も適切な説明はどれですか。 (2022年 高知公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|-------------------------------------|
| 1. 遣唐使を派遣するための莫大な費用を、各地の寺院から集める仕組みを作るため | 2. 伝染病の流行や政治的な混乱などの社会不安を、仏教の教えによって鎮め、国を安定させるため | 3. 武士の勢力に対抗するために僧兵を組織し、天皇中心の軍勢力を強化するため | 4. 律令制度の基本となる戸籍の作成を、僧侶に管理させる拠点とするため |
|---|--|--|-------------------------------------|
- 問8 かつての税制を知る手がかりとして、伊豆国から都まで運ばれた荷物に付けられていた木製の荷札が見つかっています。この荷札には特産品である「鯉節」を納めた記録が残っていますが、このように地方の産物を都へ届ける税の仕組みについて正しく述べたものはどれですか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 主に成人男性に課せられ、各地の特産物を都まで運んで納める義務。 | 2. 収穫した稲の約3%を、それぞれの国にある倉庫へ納める義務。 | 3. 都での労役の代わりに、決められた長さの布を都へ納める義務。 | 4. 年間60日を限度として、国司の命令で地方の土木工事などに従事する義務 |
|------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|
- 問9 碁盤の目状に整備された平城京の区画内に位置し、鑑真によって戒律が伝えられた唐招提寺が含まれる世界遺産「古都奈良の文化財」がある場所について、日本全国を対象とした地理的説明として最も適切なものを次から選びなさい。 (2022年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 近畿地方に位置し、古くから政治や文化の中心地として発展した奈良県周辺 | 2. 北海道地方に位置し、アイヌ文化や北方との交易の歴史を持つ地域 | 3. 東北地方の南部に位置し、中世に奥州藤原氏が黄金文化を築いた福島県周辺 | 4. 九州地方の北部に位置し、古くから大陸との外交の窓口として機能した地域 |
|---------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
- 問10 奈良の正倉院に収められている「螺鈿紫檀五絃琵琶（らでんしたんのごげんびわ）」には、熱帯アジアを原産とする紫檀という木材が使われ、砂漠を歩くラクダの装飾が施されています。このような特徴を持つ宝物が日本に存在する歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 西アジアやインドの文化が、陸上の交易路であるシルクロードを経て中国へ伝わり、それが遣唐使などの往来によって日本へもたらされた。 | 2. 聖徳太子が派遣した遣隋使が、インドや西アジアの諸国と直接的な外交関係を樹立し、それらの国々から直接輸入したものである。 | 3. 当時の日本は西アジア諸国と大規模な直接貿易を行っており、主に海路を通じてこれらの豪華な楽器が大量に輸入された。 | 4. 唐が周辺諸国との交流を遮断していたため、日本は朝鮮半島の新羅を経由してのみ、間接的に西アジアの文化を取り入れていた。 |
|--|--|--|---|
- 問11 奈良時代、相次ぐ疫病や政治的な混乱による社会不安を鎮めるため、聖武天皇が仏教の力で国家の安定を図ろうとした政策について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 広島公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 全国の国ごとに国分寺・国分尼寺を建立し、都には総本山として東大寺を建てた。 | 2. 大陸から伝わった鉄器や青銅器の製造技術を独占し、全国の主要な拠点に工房を設置した。 | 3. 地方の治安を維持するために、全国の国ごとに守護を、公領や荘園には地頭を設置した。 | 4. 下剋上の風潮を抑えるために、各地域の農民が中心となった寺院による自治を認めた。 |
|--|--|---|--|
- 問12 奈良時代にまとめられた日本最古の和歌集について、天皇や貴族の歌だけでなく、九州の北海岸などの警備にあたった「防人（さきもり）」や農民など、幅広い階層の人々の歌が収められているという特徴を持つものはどれですか。 (2020年 香川公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|----------|-----------|--------|
| 1. 万葉集 | 2. 古今和歌集 | 3. 新古今和歌集 | 4. 懷風藻 |
|--------|----------|-----------|--------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 肥後国の木綿など、地方の特産品を荷札とともに都へ届ける負担があった。	平城京から出土した木簡には、どこの国（現在の都道府県に近い単位）から、どのような品物が、誰によって届けられたかが墨で書かれています。例えば、肥後国益城郡から「調」として木綿が届けられた記録があり、これは全国の特産物が都へ集められていた実態を示しています。稲を納めるのは「租」、都での労役の代わりは「庸」であり、これら三つが律令制における主要な税の仕組みでした。
問2	答え 1 農民を土地に結びつけて確実に把握し、租などの税を安定して徴収するため。	律令国家にとって、土地と人民を直接支配する「公地公民」の原則は、国家財政を維持するための根幹でした。戸籍によって一人ひとりの人民を把握し、口分田を与える代わりに「租（収穫した稲の約3%）」などの税を課すことで、国家の収入を安定させる狙いがありました。そのため、私有地を増やすことや土地の自由な売買は、当初の律令制度の目的とは相反するものでした。
問3	答え 1 浮浪	農民が重い負担に対抗した手段には、戸籍の性別や年齢を偽る「偽籍」のほかに、登録された土地から勝手に離れる「浮浪」や「逃亡」がありました。これらは、律令国家が「公地公民」の原則に基づき、戸籍によって人民を把握し税を徴収する仕組みを維持することを困難にさせ、やがて班田収授法が機能しなくなる大きな要因となりました。
問4	答え 1 国司	律令制度において、中央政府の権威を地方に及ぼすために都から派遣されたのが国司です。彼らは一定の任期を持ち、地元の実力者である豪族から選ばれた「郡司」を指導・監督しながら、戸籍の作成や税の取り立て、裁判などを行いました。鎌倉時代の守護や地頭、明治時代の県令など、他の時代の地方官職と区別することが重要です。
問5	答え 1 遣唐使が唐の都である長安の国際的な文化や、西アジア、インドなどから伝わった文物を日本へ持ち帰ったから。	当時の唐の都・長安は、世界各地から人々が集まる国際都市であった。遣唐使はそこから最新の仏教経典、芸術作品、工芸品を持ち帰ったため、日本の貴族文化の中に唐だけでなく遠く西アジアやインドの要素が混ざり合うこととなった。これに対し、遣唐使の廃止後に発達した国風文化は、それらを日本の風土に合わせて消化した日本独自の文化であるという違いがある。
問6	答え 1 天然痘の流行や飢饉、貴族による政変が続き、それらの災いを仏教の力で鎮めたいと考えたため	聖武天皇の治世では、長屋王の変などの激しい権力争いに加え、天然痘の大流行による人口減少や飢饉が発生し、社会は非常に不安定でした。こうした深刻な状況を打破し、人々の心をまとめ、国家を再建する拠り所として、鎮護国家の思想に基づく大仏造立や天平文化の振興が行われました。
問7	答え 2 伝染病の流行や政治的な混乱などの社会不安を、仏教の教えによって鎮め、国を安定させるため	聖武天皇が治めていた時期、社会では天然痘などの疫病の流行、飢饉、さらには政治的な反乱などが相次ぎ、民衆や朝廷は大きな不安の中にありました。聖武天皇は、仏教の力によってこれらの災いから国を守ろうとする「鎮護国家（ちんごこっか）」の思想を掲げ、その象徴として東大寺の建立や大仏造立を推進しました。
問8	答え 1 主に成人男性に課せられ、各地の特産物を都まで運んで納める義務。	律令国家の財政を支えた「調」は、地方の特産物を都に集める役割を担っていました。伊豆国の鯉節のように、その土地ならではの加工品が選ばれることが多く、これらは都まで運搬する負担も含めて成人男性の義務とされていました。
問9	答え 1 近畿地方に位置し、古くから政治や文化の中心地として発展した奈良県周辺	唐招提寺は、現在の奈良県に位置しています。この地域は古代日本の政治の中心である平城京が置かれた場所であり、中国の唐の都にならった都市整備が行われました。九州北部や東北、北海道といった他の地域にもそれぞれ重要な文化遺産がありますが、律宗の拠点である唐招提寺や東大寺、興福寺などが集中しているのは近畿地方の奈良盆地です。
問10	答え 1 西アジアやインドの文化が、陸上の交易路であるシルクロードを経て中国へ伝わり、それが遣唐使などの往来によって日本へもたらされた。	奈良時代の日本は遣唐使を派遣し、当時世界の中心の一つであった唐（中国）の文化を積極的に取り入れました。唐はシルクロードを通じて西アジアやインドと盛んに交流していたため、それらの地域の文化や物産が唐に集まっていました。日本は唐を経由することで、間接的に遠く離れた西アジアやインドの国際色豊かな文化（天平文化）を享受することができたのです。遣隋使による直接輸入や、当時の日本が西アジアと直接海路貿易を行っていたという事実は確認されていません。
問11	答え 1 全国の国ごとに国分寺・国分尼寺を建立し、都には総本山として東大寺を建てた。	聖武天皇は、仏教の教えによって国を護る「鎮護国家（ちんごこっか）」の思想に基づき、社会の混乱を収めようと考えました。その一環として、741年に「国分寺建立の詔（みことり）」を出し、全国の令制国ごとに国分寺と国分尼寺を建てることを命じました。また、都の平城京にはこれらの総本山となる東大寺を建立し、巨大な大仏を造立しました。
問12	答え 1 万葉集	奈良時代の文化を代表する歌集で、全20巻に約4500首の歌が収められています。貴族だけでなく、防人の歌や東国の人々の生活を詠んだ「東歌（あずまうた）」などが含まれており、当時の人々の感情や暮らしぶりを直接伝える貴重な歴史資料としての側面も持っています。

- 問1 奈良時代、聖武天皇は全国に国分寺・国分尼寺を建立し、東大寺に大仏を造立しました。このように、仏教の力によって疫病や災害などの社会不安から国家を安定させようとした当時の根本的な思想を何とといいますか。 (2026年 千葉公立入試 類似)
1. 鎮護国家の思想 2. 国風文化の思想 3. 浄土信仰の教え 4. 本地垂迹説
- 問2 大化の改新から律令制度の確立にかけて整備された租税のうち、絹や布、あるいは各地の海産物といった「地方の特産物」を、都まで運んで納める義務のことを何とといいますか。 (2021年 大分県公立入試 類似)
1. 租 2. 庸 3. 調 4. 公事
- 問3 奈良時代、朝廷が東北地方の支配を広げるために、現在の宮城県に設置した行政と軍事の拠点として正しいものはどれですか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
1. 多賀城 2. 大宰府 3. 国分寺 4. 安土城
- 問4 奈良時代において、仏教の力で国家の安定を図る「鎮護国家」の思想に基づき、全国に国分寺・国分尼寺を建立することを命じた人物は誰ですか。また、その人物の遺品が納められ、国際色豊かな天平文化を今に伝える、奈良市に位置する正倉院との関わりが深い人物を次の中から選びなさい。 (2022年 京都公立入試 類似)
1. 聖武天皇 2. 桓武天皇 3. 推古天皇 4. 後三条天皇
- 問5 律令制が整えられた時期、政府は戸籍を作成して人々の把握に努めました。この戸籍に基づいて行われた「班田収授法」の内容として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 静岡公立入試 類似)
1. 6歳以上の男女に口分田を与え、死亡した際にはその土地を国に返還させる制度。 2. 新しく開墾した土地を、三世代にわたって私有することを認める制度。 3. 有力な貴族や寺社が所有する大規模な私有地を、国家の直轄地として没収する制度。 4. 平城京の周辺にある土地を、功績のあった役人に対して永久に与える制度。
- 問6 律令制度のもと、主に東国（現在の関東地方など）から徴用され、九州北部の沿岸を警備する任務についた兵士を何と呼びますか。彼らは白村江の戦いでの敗北後、唐や新羅からの侵攻に備えるために配置されました。 (2020年 滋賀公立入試 類似)
1. 防人 2. 衛士 3. 健児 4. 検非違使
- 問7 奈良時代の聖武天皇は、相次ぐ疫病や社会不安を鎮めるため、仏教の力によって国家の安寧と平和を願いました。その際、日本各地（諸国）に建立を命じた寺院を何とといいますか。大分県内にもその跡が残り、国の史跡として現代に伝えられています。 (2018年 大分県公立入試 類似)
1. 国分寺 2. 東大寺 3. 法隆寺 4. 唐招提寺
- 問8 律令国家が、6年ごとに戸籍を作成し、それに基づいて人々に口分田を割り当てる「班田収授法」を維持した主な目的として、最も適切な説明はどれか。 (2023年 宮城県公立入試 類似)
1. 有力な貴族や寺院に土地を寄進させ、地方の政治を安定させるため 2. 人民の構成を正確に把握し、収穫した稲の一部を税（租）として確実に徴収するため 3. 農具や肥料を国が貸し出すことで、荒地の開墾を国家主導で進めるため 4. 土地を永久に個人の私有財産と認めることで、農業生産の意欲を高めるため
- 問9 奈良時代の税制度において、都からの距離と人々に課せられる負担の関係について正しく述べたものはどれですか。都を中心として同心円状に地域の負担を示した資料の内容を踏まえて答えなさい。 (2019年 大分県公立入試 類似)
1. 都に近い地域ほど、都で働く労役の日数が多く設定されていた。 2. 都に近い地域ほど、都から遠い地域よりも納める特産物の種類が多く指定されていた。 3. 都に近い地域ほど、収穫した米の一定割合を納める「租」の負担が重くなっていた。 4. 都に近い地域ほど、特産物を都まで運ぶ往復の移動に日数がかかるため、労役が免除されていた。
- 問10 奈良時代の天平文化の特徴について、当時の国際情勢や文化交流の観点から説明したものとして正しいものを選びなさい。 (2022年 新潟県公立入試 類似)
1. 遣唐使がもたらした唐の文化の影響を強く受け、国際色豊かな特色を持っている。 2. 武士の精神を反映した、素朴で力強い文化が鎌倉を中心に展開された。 3. 遣唐使の廃止によって唐との交流が途絶えたため、日本独自の優雅な国風文化が生まれた。 4. 禅宗の影響を強く受け、水墨画や茶の湯などの質素な美を尊ぶ文化が形成された。
- 問11 律令制度における租税の仕組みについて、当時の農民が負担した「租」と「調」の性質の違いを説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 香川公立入試 類似)
1. 租は収穫した稲を地元の国府に納めるものだったが、調は特産品を遠く離れた都まで運ぶ必要があった。 2. 租は成人男性にのみ課せられる税であったが、調は性別に関係なくすべての農民に課せられた。 3. 租は平城京などの都で消費される食料となったが、調は地方自治の運営費用として蓄えられた。 4. 租は不作の際にも減免されることはなかったが、調は天候によって納める品目が柔軟に変更された。
- 問12 聖武天皇が東大寺に大仏を造立した歴史的な背景とその目的について説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
1. 伝染病の流行や政治的な混乱による社会不安を、仏教の力によって取り除き、国家を守ろうとした。 2. 阿弥陀仏にすがって極楽浄土へ生まれ変わることを願う浄土信仰を、貴族や民衆の間に広く普及させようとした。 3. 禅宗の影響を受けた当時の最新様式を取り入れ、武家社会の力強さを象徴する三層の建築物を造営しようとした。 4. 大陸から招いた高僧に、僧侶が守るべき正しい戒律を授けるための正式な儀式の場を提供しようとした。
- 問13 東大寺の大仏造立は、莫大な費用と人手を要する国家的な大事業でした。この事業を推進するにあたり、かつては朝廷から布教を制限されていましたが、民衆への社会奉仕活動を通じて絶大な支持を得ていたため、最終的に大仏造立の勸進（協力呼びかけ）として迎えられた僧はだれですか。 (2026年 鳥取公立入試 類似)
1. 行基 2. 鑑真 3. 空海 4. 道鏡

答え合わせ・解説

問1	答え 1 鎮護国家の思想	聖武天皇の時代を中心とする天平文化では、仏教の力で国家の安泰を図る「鎮護国家」の思想が強く反映されました。当時は政変や疫病、飢饉が相次いでいたため、聖武天皇は大仏造立の詔を発し、仏教を国家運営の中心に据えることで、目に見えない脅威から国を救おうと試みました。
問2	答え 3 調	律令制度における代表的な租税の一つである「調」は、その土地の特産物を都に納める負担でした。これに対し、収穫した稲を納めるものは「租」、都での労働の代わりに布などを納めるものは「庸」と呼ばれます。平城京などの都の跡地からは、これらの荷物に付けられた「木簡（もっかん）」が多数出土しており、当時の徴収の様子を知る手がかりとなっています。
問3	答え 1 多賀城	奈良時代の朝廷は、支配体制を全国に広げる過程で、各地に重要な拠点を置きました。現在の宮城県に築かれた多賀城は、陸奥国の国府（役所）としての行政機能と、当時「蝦夷」と呼ばれた東北地方の人々に対抗するための軍事機能を併せ持っていました。一方、九州に置かれた大宰府は外交や防衛の拠点であり、国分寺は仏教による国家鎮護を目的として全国に建立された寺院です。
問4	答え 1 聖武天皇	奈良時代の聖武天皇は、疫病や社会不安から国を守るために仏教を深く信仰し、東大寺に大仏を造立するとともに、全国各地に国分寺・国分尼寺を建てました。この時代に栄えた国際色豊かな文化を天平文化と呼び、聖武天皇の愛用品などが納められた正倉院の宝庫は、シルクロードを経由してもたらされた大陸の文物が現存していることで世界的に知られています。桓武天皇は平安京への遷都、推古天皇は飛鳥時代の政治、後三条天皇は摂関政治を抑えた親政で知られる人物です。
問5	答え 1 6歳以上の男女に口分田を与え、死亡した際にはその土地を国に返還させる制度。	律令国家の形成期において、国家は「租」という税を確実に集めるために、班田収授法を確立しました。戸籍をもとに6歳以上の男女に口分田を割り当て、労働力を把握すると同時に、土地の売買や世襲を禁じることで、国家による土地支配を維持しようとしていました。これに対して、後に制定された「墾田永年私財法」は、開墾した土地の永年私有を認めるものであり、班田収授法の崩壊につながる出来事でした。
問6	答え 1 防人	白村江の戦い（663年）で唐・新羅の連合軍に敗れた倭（日本）は、対外的な緊張が高まったことから、九州北部の防衛を強化しました。その際に配置されたのが防人です。主に東国の農民が選ばれましたが、現地までの旅費や武器は自己負担であり、さらに3年間の任期中は農業に従事できないなど、民衆にとって極めて重い負担となっていました。
問7	答え 1 国分寺	聖武天皇は、仏教の教えによって国を護ろうとする「鎮護国家」の思想に基づき、全国の諸国ごとに国分寺と国分尼寺を建てることを命じました。大分県にある豊後国分寺跡などは、当時の地方行政の広がりや仏教政策の影響を示す重要な歴史的遺構です。
問8	答え 2 人民の構成を正確に把握し、収穫した稲の一部を税（租）として確実に徴収するため	班田収授法は、国家の財政基盤を支えるための重要な制度です。戸籍によって性別や年齢などの人口を把握し、それに応じた口分田を割り当てることで、対価として「租」という税を課しました。これにより、国家は不安定な私有化を防ぎつつ、安定した税収を確保しようとしていました。
問9	答え 1 都に近い地域ほど、都で働く労役の日数が多く設定されていた。	奈良時代の律令制度では、都からの距離に応じて税や労働の負担が調整されていました。都に近い地域（畿内など）に住む人々は、都までの移動距離が短く、移動に要する日数が少なくて済むため、その分、実際に都で働く「労役（賦役）」の日数が多く課せられていました。これは、遠方の地域の人々が特産物などを都まで運ぶのに多大な日数を費やすこととのバランスを考慮した仕組みです。「租」は主に田地の面積に応じて課されるものであり、都からの距離によって収穫量の割合が変わるものではありません。
問10	答え 1 遣唐使がもたらした唐の文化の影響を強く受け、国際色豊かな特色を持っている。	天平文化は、遣唐使によってもたらされた唐の高度な文化や仏教の影響を強く受けています。当時の唐は西アジアなどとも交流があったため、正倉院の宝物にはペルシャ風の意匠が見られるなど、国際色豊かな（国際性豊かな）文化であったことが特徴です。一方で、国風文化は平安時代中期以降、水墨画などの文化は室町時代以降の特色であるため混同しないよう注意が必要です。
問11	答え 1 租は収穫した稲を地元の国府に納めるものだったが、調は特産品を遠く離れた都まで運ぶ必要があった。	「租」は口分田の面積に応じて課せられる税で、収穫した稲を地方の国府（現在の県庁のような組織）にある正倉に納め、主に地方の財源として使われました。これに対し「調」や「庸」は、中央政府（都）の財源とするために、納税者自身が都まで運搬する「運脚（うんきゃく）」の義務が伴いました。この輸送の負担の差が、当時の農民の生活に大きな影響を与えました。
問12	答え 1 伝染病の流行や政治的な混乱による社会不安を、仏教の力によって取り除き、国家を守ろうとした。	聖武天皇の時代には、天然痘の流行や凶作、政治的な対立による反乱が相次ぎました。これらに対し、天皇は仏教を厚く信じることで国を守る「鎮護国家」の思想を掲げ、平和と国家の安定を願って大仏造立の詔を出しました。
問13	答え 1 行基	行基は、政府の許可なく民衆へ仏教を広め、橋や堤防の建設などの社会事業を行ったことで当初は弾圧されていました。しかし、その圧倒的な動員力と民衆からの信頼を聖武天皇が認め、大仏造立を成功させるために協力を要請しました。一方、鑑真は唐から来日し、正式な僧となるための儀式（授戒）を伝えた人物です。

- 問1 8世紀に編纂された「風土記」の内容や目的について述べた文として、最も適切なものはどれか選びなさい。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 中央政府が地方の実態を把握するため、国ごとに郷土の地理や地名の由来、伝承などをまとめさせた。 | 2. 天皇による統治の正当性を示すため、神話から続く国家の成り立ちを年代順に記録した。 | 3. 仏教による国家の安定を願って、全国に建立された国分寺や国分尼寺の由来を詳しく記した。 | 4. 租・庸・調などの税を確実に徴収するため、農民の戸籍や口分田の面積を地方ごとに記録した。 |
|---|---|---|--|
- 問2 743年に発布された、自ら新しく開墾した土地を期限なく永代にわたって自分のものにできるとした法律を何といいますか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|-----------|----------|----------|
| 1. 墾田永年私財法 | 2. 三世一身の法 | 3. 班田収授法 | 4. 地租改正法 |
|------------|-----------|----------|----------|
- 問3 奈良時代、日本では中国の王朝でつくられた貨幣にならい、円形で中央に正方形の穴が開き、表面に文字が刻まれた形式の貨幣が鋳造されました。この貨幣のモデルとなり、当時の日本が政治や文化の手本とした中国の王朝を選びなさい。 (2017年 三重公立入試 類似)
- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1. 唐 | 2. 宋 | 3. 元 | 4. 明 |
|------|------|------|------|
- 問4 663年の白村江の戦いで敗れた後、大和政権は大宰府を守るためにその周辺の防衛を強化しました。この時、大宰府の北側に築かれた、巨大な土塁と堀を持つ防衛施設を何と呼びますか。 (2017年 広島公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------------|---------------|----------------|
| 1. 水城（みづき） | 2. 多賀城（たがじょう） | 3. 鴻臚館（こうろかん） | 4. 吉野ヶ里（よしのがり） |
|------------|---------------|---------------|----------------|
- 問5 7世紀後半から奈良時代にかけて、日本は遣唐使を派遣して唐の国際色豊かな文化や国家体制を学びました。これに関連して、当時の日本の都である平城京を建設する際に、碁盤の目状の区画など都市計画の直接的なモデルとなった唐の都はどこですか。 (2019年 広島公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 長安 | 2. 上海 | 3. 奉天 | 4. 北京 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問6 奈良時代に聖武天皇が仏教による国家の安定を目指した時期の状況について、正しく述べたものはどれですか。 (2017年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 奈良の正倉院には、大陸との交流を示す国際色豊かな宝物が納められた | 2. 桓武天皇が政治を立て直すために、都を現在の奈良市から京都に移した | 3. 遣唐使が廃止されたことで、日本独自の生活様式に合わせた文化が栄えた | 4. 東大寺の建立に反対した勢力を抑えるため、軍勢力を強化する政策をとった |
|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
- 問7 奈良時代、地方の状況を把握するために政府の命令で作られた地理志があります。各国の自然環境、産物、土地の由来や伝承などが記録されたこの書物を何といいますか。 (2026年 奈良公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1. 風土記 | 2. 日本書紀 | 3. 万葉集 | 4. 古事記 |
|--------|---------|--------|--------|
- 問8 万葉集の内容について、他の時代に編纂された和歌集と比較した際に見られる際立った特徴として適切な説明はどれですか。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|-----------------------------------|
| 1. 天皇や貴族だけでなく、防人や農民など幅広い階層の人々の歌が収録されている点 | 2. 紀貫之らによって、すべて平仮名を用いた繊細で優美な表現のみでまとめられている点 | 3. 後鳥羽上皇の命令によって、武士の台頭に対抗する公家文化の家徴として編纂された点 | 4. 全編が仏教の教えを広めるための宗教的な目的で構成されている点 |
|--|--|--|-----------------------------------|
- 問9 奈良時代の文化的な特色を示す記述として、適切なものはどれですか。当時の社会状況や、日本最古の和歌集である『万葉集』の内容を踏まえて答えなさい。 (2026年 鳥根公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 漢字の音や訓を借りた万葉仮名を用い、農民や防人の歌を収録するなど素朴で力強い特色がある | 2. 醍醐天皇の命によって編纂された最初の勅撰和歌集であり、繊細で優美な歌風が重んじられた | 3. 後鳥羽上皇の命で編纂され、藤原定家らによって象徴的な美しさを追求した歌が収められた | 4. 遣唐使の廃止によって生まれた国風文化の流れを汲み、ひらがなを用いた和歌が流行した |
|--|---|--|---|
- 問10 奈良時代の743年、朝廷は新しく開墾した土地の永代私有を認める「墾田永年私財法」を制定しました。この法令が出された背景として、当時の社会状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 人口が増加したことにより、政府が農民に割り当てる口分田が不足し、食料確保のための土地開発が必要になった。 | 2. 公地公民の原則をより強化し、すべての土地を国が直接管理することで、農民の負担を軽減しようとした。 | 3. 班田収授法によって口分田が余りすぎたため、余った土地を貴族や寺院に分け与えて管理を任せることにした。 | 4. 仏教の力で国を安定させるため、聖武天皇が全国に国分寺を建てる用地を強制的に徴収しようとした。 |
|---|---|---|---|
- 問11 ユーラシア大陸の主要な交易都市を結ぶシルクロードを経由し、西アジアの産物が日本にまで届いた歴史的背景について説明したものとして、最も適切な記述はどれですか。 (2022年 山口公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 唐が西アジアに至る広大な領土を背景に国際的な文化を形成しており、日本から派遣された遣唐使がその文物を持ち帰った。 | 2. 室町時代に活動した倭寇が、西アジアから中国沿岸部まで届いた工芸品を略奪し、東大寺などの寺院に寄進した。 | 3. 江戸時代初期に幕府から許可を受けた朱印船が、ペルシャ湾付近まで直接航海してガラス細工などの貴重な品を輸入した。 | 4. 安土桃山時代に始まった南蛮貿易において、ヨーロッパの商人がシルクロードを陸路で通り、西アジアの特産品を日本に伝えた。 |
|---|--|--|---|
- 問12 古代の日本において、大宝律令の制定に前後して整備された土地制度について、政府が作成した「戸籍」に基づき、6歳以上の男女に「区分田」を割り当てた仕組みを何といいますか。 (2018年 岐阜公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|------------|-----------|---------|
| 1. 班田収授法 | 2. 墾田永年私財法 | 3. 三世一身の法 | 4. 地租改正 |
|----------|------------|-----------|---------|
- 問13 奈良時代の中頃、相次ぐ政変や疫病、飢饉による社会の不安を鎮めるため、仏教の力によって国家を安定させようとする「鎮護国家」の思想に基づき、東大寺に大仏を造るよう命じた人物は誰ですか。 (2023年 鳥取公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 聖武天皇 | 2. 天武天皇 | 3. 天智天皇 | 4. 推古天皇 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問14 奈良時代の文化に関する説明の中に、「貴族だけでなく、兵役として送られた人々や農民の歌も収められている」という記述があります。この「兵役として送られた人々」が残した歌が収録されている、日本最古の歌集はどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1. 古事記 | 2. 日本書紀 | 3. 万葉集 | 4. 風土記 |
|--------|---------|--------|--------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 中央政府が地方の実態を把握するため、国ごとに郷土の地理や地名の由来、伝承などをまとめさせた。	風土記は、律令制度が整う中で地方の情報を中央に集約するために作成されました。各国の自然環境や経済的資源（産物）、さらにはその土地に根付いた文化や神話を文字で記録させることで、中央政府による全国的な統治の基盤を固める狙いがありました。他の選択肢は、歴史書や戸籍の説明です。
問2	答え 1 墾田永年私財法	奈良時代、人口の増加に伴って口分田が不足したため、政府は土地の開墾を奨励しました。723年に出された三世一身の法では私有期間に制限がありましたが、この法律によって永代の私有（永久私有）が認められるようになりました。これがきっかけとなり、公地公民の原則が崩れ、荘園制度へとつながっていきました。
問3	答え 1 唐	奈良時代、日本は遣唐使を派遣するなどして、中国の「唐」の制度や文化を積極的に取り入れました。貨幣についても唐の「開元通宝」をモデルとして、708年に「和同開珎」がつくられました。都である平城京には、各地の産物が集まる東の市・西の市が設けられ、貨幣を用いた交易が推進されました。
問4	答え 1 水城（みづき）	白村江の戦いでの敗北後、唐・新羅連合軍の侵攻を恐れた朝廷は、九州の防衛を急ぎました。外交・行政の中心地である大宰府を守るため、その北側に「水城」という大規模な堤防（土塁と堀）を築き、さらに周囲の山々には大野城などの朝鮮式山城を建設して、防衛体制を整えました。多賀城は東北地方の拠点であり、鴻臚館は外交使節の宿泊施設です。
問5	答え 1 長安	唐の都であった長安は、東西・南北に整然と道路が走る「条坊制」と呼ばれる都市計画が採用されていました。律令国家の形成を目指していた当時の日本は、遣唐使を通じて得たこの都市モデルを平城京や平安京の建設に取り入れ、国家の権威と統治の仕組みを整えました。
問6	答え 1 奈良の正倉院には、大陸との交流を示す国際色豊かな宝物が納められた	聖武天皇は東大寺に大仏を造営し、国ごとに国分寺・国分尼寺を建てるなど、仏教の力で国を治めようとしていました。正倉院はこの時期の文化的な中心であった東大寺の倉の一つであり、当時の国際的な広がり象徴する場所です。桓武天皇や遣唐使の廃止は、奈良時代よりも後の平安時代に関連する事象です。
問7	答え 1 風土記	和銅6年（713年）に編纂が命じられた書物です。地方の自然、産物、伝承を公的に記録することで、中央政府が全国の状況を把握しようとする目的がありました。現存するものとしては『出雲国風土記』などが有名です。
問8	答え 1 天皇や貴族だけでなく、防人や農民など幅広い階層の人々の歌が収録されている点	万葉集には、北九州の警備にあたった人々の心情を詠んだ「防人の歌」や、東日本の民衆の暮らしを詠んだ「東歌（あずまうた）」などが含まれています。このように名もなき人々の素朴で力強い感情が収められている点は、後の時代の貴族中心の勅撰和歌集には見られない、この時代特有の大きな特徴です。
問9	答え 1 漢字の音や訓を借りた万葉仮名を用い、農民や防人の歌を収録するなど素朴で力強い特色がある	『万葉集』は、まだ「かな文字」が発明されていない時代に、漢字の音や訓を用いて日本語を表記する「万葉仮名」で書かれました。防人歌（さきもりうた）や東歌（あずまうた）に代表されるように、名もなき民衆の歌が含まれていることが、平安時代以降の勅撰和歌集との大きな違いです。他の選択肢は平安時代以降の文化や勅撰和歌集（古今和歌集・新古今和歌集）の説明に該当します。
問10	答え 1 人口が増加したことにより、政府が農民に割り当てる口分田が不足し、食料確保のための土地開発が必要になった。	奈良時代には人口が増え、戸籍に基づいて人々に配る「口分田」が足りなくなりました。これに対し政府は、まず723年に「三世一身の法」を出して開墾を促しましたが、私有期限があったため効果が限定的でした。そこで743年にこの法を定め、開墾した土地を永久に自分のものにして良いと認めることで、人々が自発的に田地を増やすよう促しました。この結果、公地公民の原則が崩れ、後の荘園形成へとつながる大きな転換点となりました。
問11	答え 1 唐が西アジアに至る広大な領土を背景に国際的な文化を形成しており、日本から派遣された遣唐使がその文物を持ち帰った。	奈良時代の日本は、唐の先進的な文化を学ぶために遣唐使を派遣しました。当時の唐は西アジアとも交流を持つ国際的な帝国であり、シルクロードを通じてペルシャなどの産物が流入していました。日本に伝わったこれらの産物は、東大寺の正倉院に保管され、現在も当時の国際交流の様子を伝えています。選択肢にある倭寇や朱印船、南蛮貿易は、奈良時代よりも後の時代の出来事であり、シルクロードを介した唐との交流とは異なります。
問12	答え 1 班田収授法	律令国家は「公地公民」の原則を掲げ、土地と人民を国家が直接支配することを目指しました。そのために戸籍を作成して国民一人ひとりを把握し、それに基づいて一定の田地を貸し与える仕組みを整えました。この制度によって与えられた土地は、本人の死後に国へ返還することが定められていました。
問13	答え 1 聖武天皇	奈良時代、相次ぐ災いや混乱を収めるために、仏教を重んじる政治が行われました。聖武天皇は全国に国分寺・国分尼寺を建てることを命じるとともに、その総本山的な役割を持つ東大寺に、国の平安を願って大仏を造立しました。
問14	答え 3 万葉集	奈良時代末期にまとめられた『万葉集』には、天皇や貴族の歌だけでなく、東国から九州へと派遣された防人の心情を詠んだ「防人の歌」や、農民の苦しい生活を詠んだ歌などが幅広く収録されています。これは、当時の人々の生活や感情を伝える貴重な史料としての側面も持っています。

- 問1 奈良時代の班田収授法における、口分田の配分や管理の仕組みについて述べた文として、正しいものはどれですか。（2022年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 戸籍に登録された6歳以上の男女すべてに与えられ、その面積は性別や身分によって違いがあった。 | 2. 土地の不足を解消するため、新しく開墾した土地であれば、返還せずに永久に私有することが認められた。 | 3. 口分田は一度与えられると、本人が死亡した後も子孫が代々受け継いで耕作することができた。 | 4. 税の負担を公平にするため、身分に関わらずすべての国民に全く同じ面積の土地が与えられた。 |
|--|---|--|--|
- 問2 律令制度における兵役の一つである「防人」について、その実態を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2016年 三重県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---------------------------------------|---|---------------------------------------|
| 1. 九州北部の沿岸警備を目的とし、主に東国の農民が3年の任期で派遣された。 | 2. 都の宮中の警備を目的とし、全国の農民が1年の任期で交互に派遣された。 | 3. 東北地方の蝦夷の反乱を抑えるため、志願した農民が永住を前提に派遣された。 | 4. 外国船の来航に備えるため、江戸幕府が西国の諸大名に命じて組織させた。 |
|--|---------------------------------------|---|---------------------------------------|
- 問3 奈良時代の都であった平城京から、各地の地名や産物名が記された木簡が大量に発見されていることは、当時の社会についてどのような事実を物語っていますか。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---------------------------------------|--|
| 1. 律令国家が全国的な徴税体系を整え、地方の特産物を都に集約させていたこと | 2. 地方の農民が土地の有力者に対して、収穫した米を年貢として納めていたこと | 3. 各地の開所で通行料を徴収し、その記録を木札にまとめて保管していたこと | 4. 紙が普及していなかったため、農民たちが日々の家計簿を木に記していたこと |
|--|--|---------------------------------------|--|
- 問4 奈良時代、律令国家の体制が整う中で、中央政府が地方の実績や資源を把握するために各国に命じて作成させた、地域の自然、産物、伝説などを記録した報告書を何といいますか。（2017年 岐阜県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1. 風土記 | 2. 日本書紀 | 3. 万葉集 | 4. 古事記 |
|--------|---------|--------|--------|
- 問5 東大寺の正倉院に代表される、三角形の木材を組み上げた校倉造の建築物には、当時の国際交流を裏付ける工芸品が多く収められている。これらの宝物が日本にもたらされた歴史的背景として、最も適切な説明を選べ。（2024年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 遣唐使の派遣により、シルクロードを経由して唐に集まった西アジアなどの文化が日本に伝わった。 | 2. 勘合貿易の実施により、明の皇帝から贈られた美術品が日本の武家文化に影響を与えた。 | 3. 南蛮貿易の進展により、ポルトガルやスペインの宣教師がキリスト教とともにヨーロッパの文物を持ち込んだ。 | 4. 朝鮮通信使の来日により、儒教の経典や朝鮮半島の高度な製陶技術が日本各地に広まった。 |
|--|---|---|--|
- 問6 奈良時代、唐文化の影響を受けた天平文化が栄えた時期に、食糧不足を解消するための開墾を奨励する目的で制定された法令は何ですか。以前の「三世一身の法」では期限付きであった土地の所有を、新しく開墾した土地に限って永久に認めたものです。（2019年 高知県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|-----------|-----------|----------|
| 1. 墾田永年私財法 | 2. 班田収授の法 | 3. 公地公民の制 | 4. 御成敗式目 |
|------------|-----------|-----------|----------|
- 問7 奈良時代末期に成立した日本最古の和歌集で、大伴家持が編纂に関わったとされる作品を次から選びなさい。（2023年 新潟県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|----------|-----------|--------|
| 1. 万葉集 | 2. 古今和歌集 | 3. 新古今和歌集 | 4. 懷風藻 |
|--------|----------|-----------|--------|
- 問8 奈良時代に編纂された書物のうち、中央政府の正史としてまとめられた『日本書紀』や『古事記』と比較した際の、『風土記』の特徴として適切な説明はどれですか。（2023年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---------------------------------------|---|--|
| 1. 地方の国ごとに、土地の産物や地名の由来、古くから伝わる伝承などが記録された。 | 2. 天皇の系譜や国家の成り立ちを、神話や伝説を交えて年代順に体系化した。 | 3. 律令制度に基づく税の徴収を目的として、各地の戸籍や土地の面積を詳細に記した。 | 4. 万葉仮名を用いて、天皇から防人、農民まで幅広い階層の人々が詠んだ歌をまとめた。 |
|---|---------------------------------------|---|--|
- 問9 743年に「墾田永年私財法」が施行されたことにより、その後の日本の社会に現れた大きな変化として正しいものはどれか。（2024年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 経済力を持つ貴族や寺院が大規模な開墾を行い、のちに「荘園」と呼ばれる私有地が広がる原因となった。 | 2. 班田収授の法がより厳格に守られるようになり、農民の間の貧富の差が完全に解消された。 | 3. 土地の私有化が進んだ結果、米で納める「租」の制度が廃止され、全ての税が貨幣で納められるようになった。 | 4. 天皇による直接支配が全国の隅々まで行き渡り、武士という新しい階級が登場する余地がなくなった。 |
|---|--|---|---|
- 問10 奈良時代、人口の増加にともなって「班田収授法」で農民に分け与えるための公地が不足しました。この状況を解決するために743年に制定された、新しく開墾した土地を永久に自分のものにする事を認めた法令は何ですか。（2023年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|-----------|-----------|----------|
| 1. 墾田永年私財法 | 2. 三世一身の法 | 3. 公事方御定書 | 4. 武家諸法度 |
|------------|-----------|-----------|----------|
- 問11 奈良時代、聖武天皇の時代を中心に栄えた文化について、遣唐使などの往来を通じて西アジアやペルシアなどの影響を強く受けた、国際色豊かな特色を持つ文化の名称として正しいものを選択してください。（2019年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 天平文化 | 2. 国風文化 | 3. 化政文化 | 4. 飛鳥文化 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問12 歴史書である『続日本紀』には、農民が苦勞して開墾した土地を、これからは自由に私財として所有することを認め、永久に国が取り上げないとする趣旨の内容が記されています。この法律が制定されるきっかけとなった当時の社会背景として、最も適切な説明はどれですか。（2016年 奈良県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 三世一身の法では、期限が来ると土地を返さなければならず、農民の開墾意欲が低下していたから。 | 2. 公地公民の原則を強化し、すべての土地を天皇が直接管理する仕組みを完成させるため。 | 3. 租・庸・調の重い負担に苦しむ農民に対して、口分田を均等に配分し直す必要があったから。 | 4. 仏教の力によって国を護るため、寺院にのみ土地の永年私有を特別に許可したから。 |
|--|---|---|---|
- 問13 古代日本の国づくりの過程で整備された、刑罰に関する決まりである「律」と、政治の仕組みや人々の義務について定めた「令」から成る法体系について、そのモデルとなった国として正しいものはどれですか。（2015年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1. 唐 | 2. 宋 | 3. 元 | 4. 清 |
|------|------|------|------|
- 問14 701年に制定され、刑法にあたる「律」と、行政法や民法にあたる「令」の両方が整備されたことで、日本が律令国家として完成したことを示す法典は何か答えなさい。（2019年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|-----------|----------|
| 1. 大宝律令 | 2. 養老律令 | 3. 十七条の憲法 | 4. 御成敗式目 |
|---------|---------|-----------|----------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 戸籍に登録された6歳以上の男女すべてに与えられ、その面積は性別や身分によって違いがあった。	口分田は6歳以上の男女に与えられましたが、例えば良民の男性は女性の1.5倍の面積を受け取るなど、性別や社会的な地位によって配分される広さが異なっていました。開墾した土地の私有化は、のちの「三世一身の法」や「墾田永年私財法」によって認められるようになりますが、口分田そのものは原則として一代限りの貸与であり、死後は国に返す必要がありました。
問2	答え 1 九州北部の沿岸警備を目的とし、主に東国の農民が3年の任期で派遣された。	白村江の戦いでの敗北後、大陸からの侵攻に備えるために九州北部の防衛体制が強化されました。防人はその中核を担いましたが、家族と離れて遠方へ赴く苦しみや生活の困窮は激しく、その様子は『万葉集』に収録された「防人歌」からも読み取ることができます。
問3	答え 1 律令国家が全国的な徴税体系を整え、地方の特産物を都に集約させていたこと	木簡は荷札としての役割を果たしており、そこには送り元の「国名・郡名」や、税の品目である「調」などの文字が記されています。これが都の宮殿跡から大量に見つかるということは、中央政府（律令国家）が全国の農民を戸籍で把握し、各地の特産物を組織的に都へ運ばせていた制度的な仕組みが、実際に機能していたことを裏付けています。
問4	答え 1 風土記	律令政府は地方を統治するにあたり、各国の地名の由来や土地の肥沃さ、産出される産物、さらには古くから伝わる伝承などを調査し、報告させる必要がありました。こうしてまとめられた地理書は「風土記」と呼ばれ、現在は出雲国（島根県）のものがほぼ完全な形で残っているほか、数力国の内容が今日に伝わっています。
問5	答え 1 遣唐使の派遣により、シルクロードを経由して唐に集まった西アジアなどの文化が日本に伝わった。	奈良時代は遣唐使が頻繁に派遣され、唐の優れた制度や文化が導入されました。当時の唐は国際色が豊かな帝国であり、中央アジアやペルシアなどの文化がシルクロードを通して流入していました。それらが日本に伝わった結果、正倉院にはペルシア風の意匠を凝らした工芸品などが残されており、「シルクロードの終着点」とも称されます。
問6	答え 1 墾田永年私財法	奈良時代の743年に制定されました。人口増加に伴う口分田の不足を解消するため、開墾した土地の永久私有を認めることで農民や貴族の開墾意欲を高めようとしたのです。しかし、この法令によって「土地と人民はすべて国家のもの」とする律令制の基本原則である公地公民の制が崩れるきっかけとなりました。
問7	答え 1 万葉集	奈良時代を代表する文化遺産であり、約4,500首の歌が収められています。平安時代に編纂された初の勅撰和歌集である『古今和歌集』や、鎌倉時代の『新古今和歌集』と時代の区別をつけることが重要です。また、『懷風藻』は日本最古の「漢詩集」であり、和歌集である本作とは区別されます。
問8	答え 1 地方の国ごとに、土地の産物や地名の由来、古くから伝わる伝承などが記録された。	風土記は、中央から派遣された国司がその国の情報をとりまとめたものです。朝廷が各地域の資源や文化を把握しようとした目的が背景にあります。一方で、日本書紀や古事記は天皇中心の国家形成の正当性を説くための歴史書であり、記述の対象や目的が異なります。
問9	答え 1 経済力を持つ貴族や寺院が大規模な開墾を行い、のちに「荘園」と呼ばれる私有地が広がる原因となった。	土地の私有が認められたことで、豊富な資金や労働力を動員できる有力な貴族や寺院がこぞって開墾を進めました。これが「初期荘園」の形成につながり、国家が直接土地と人民を支配する体制が徐々に形骸化していくことになりました。
問10	答え 1 墾田永年私財法	人口が増加したことで、それまでの班田収授法による公地の分配が困難になりました。政府は土地不足を解消するため、開墾を奨励する目的でこの法令を出し、土地の永久私有を認めました。これがきっかけとなり、のちに「荘園」と呼ばれる私有地が拡大することになります。
問11	答え 1 天平文化	聖武天皇の時代には遣唐使が頻繁に派遣され、唐の優れた制度や仏教とともに、シルクロードを経由して西アジアの意匠や技術が日本にもたらされました。この時期の文化は、当時の都である平城京を中心に展開され、仏教的・国際的な色合いを強く帯びているのが特徴です。
問12	答え 1 三世一身の法では、期限が来ると土地を返さなければならず、農民の開墾意欲が低下していたから。	723年に制定された三世一身の法は、新しく開墾した土地を三代（あるいは一代）に限り私有を認めるものでしたが、返還期限が近づくと農民が開墾を放棄し、土地が再び荒廃するという問題が起きました。食糧不足を解消するためにさらなる開墾を促す必要があった政府は、743年に土地の永年私有を認める方針へと転換しました。この政策変更は、国家が土地を直接支配する仕組みから、私有地を認める仕組みへの大きな転換点となりました。
問13	答え 1 唐	古代の日本は、中国の高度な統治システムを取り入れるために遣隋使や遣唐使を派遣しました。特に唐の法律は完成度が高く、これを手本として日本独自の状況に合わせた律令が整備されました。これにより、天皇を中心とした組織的な国家運営が可能になりました。
問14	答え 1 大宝律令	文武天皇の時代である701年に、藤原不比等らによって編纂されました。これにより、天皇を中心とする中央集権的な統治制度が法的に整い、日本は律令国家としての形を完成させました。同時期の年表では、大化の改新から続く国家形成の最終段階として位置づけられています。

- 問1 万葉集の編纂に深く関わったとされる人物は誰ですか。この人物自身の歌も多く収録されており、また和歌集全体としては、柿本人麻呂が現在の香川県坂出市に立ち寄って詠んだ歌など、全国各地を舞台とした作品が収められています。 (2020年 鳥取公立入試 類似)
1. 大伴家持 2. 紀貫之 3. 藤原定家 4. 山上憶良
- 問2 律令時代の税制のうち、成人男性に課され、都での労役の代わりに布を納める「庸」や、各地の特産品を納める「調」とは異なり、土地（口分田）を対象として課せられた税について述べた文として正しいものはどれですか。 (2021年 山口公立入試 類似)
1. 収穫した稲の約3パーセントを、地方の役所に納める。 2. 都へ赴いて10日間の労働を行う代わりに、布を納める。 3. 繊維製品や水産物などの各地の特産品を、都まで運んで納める。 4. 年間60日を限度として、地方の役所での土木工事などの労働に従事する。
- 問3 律令国家が農民に「口分田」を与えた主な目的と仕組みの説明として、最も適切なものはどれか。 (2025年 静岡公立入試 類似)
1. 戸籍に基づいて土地を分け与え、その収穫から一定の税を確実に徴収するため。 2. 農民の私有地を認め、さらに開墾した土地を永久に所有させるため。 3. 地方の豪族が所有していた土地を、農民が買い取れるようにするため。 4. 貴族や寺社の勢力を強めるために、広大な土地の管理を農民に委託するため。
- 問4 古代日本の律令国家において、戸籍に登録された6歳以上の人々に、生きている間だけ一定の面積の田（口分田）を分け与え、死後は国に返還させた制度を何といいますか。 (2015年 長野県公立入試 類似)
1. 班田収授法 2. 太閤検地 3. 地租改正 4. 公地公民の制
- 問5 古代の日本において、戸籍に登録された成年男子には兵役の義務が課せられていました。この制度に基づき、唐や新羅など大陸からの侵攻に備える目的で、九州北部の警備にあたった兵士の名称を選びなさい。 (2025年 岐阜公立入試 類似)
1. 防人（さきもり） 2. 屯田兵（とんでんへい） 3. 健児（こんでい） 4. 衛士（えじ）
- 問6 奈良の正倉院に収められている「螺鈿紫檀五絃琵琶（らでんしたんのごげんびわ）」には、熱帯アジアを原産とする紫檀という木材が使われ、砂漠を歩くラクダの装飾が施されています。このような特徴を持つ宝物が日本に存在する歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
1. 西アジアやインドの文化が、陸上の交易路であるシルクロードを経て中国へ伝わり、それが遣唐使などの往来によって日本へもたらされた。 2. 聖徳太子が派遣した遣隋使が、インドや西アジアの諸国と直接的な外交関係を樹立し、それらの国々から直接輸入したものである。 3. 当時の日本は西アジア諸国と大規模な直接貿易を行っており、主に海路を通じてこれらの豪華な楽器が大量に輸入された。 4. 唐が周辺諸国との交流を遮断していたため、日本は朝鮮半島の新羅を経由してのみ、間接的に西アジアの文化を取り入れていた。
- 問7 律令時代の地方行政制度において、地方を統治するために設置された行政区分の名称とその読み方の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. 最も広い範囲を「国（くに）」、その下に「郡（こおり）」、末端に「里（り）」を置いた。 2. 最も広い範囲を「国（くに）」、その下に「里（さと）」、末端に「郡（むら）」を置いた。 3. 最も広い範囲を「道（どう）」、その下に「府（ふ）」、末端に「県（あがた）」を置いた。 4. 最も広い範囲を「藩（はん）」、その下に「郡（ぐん）」、末端に「村（そん）」を置いた。
- 問8 奈良時代に編纂された「風土記」の記述内容として、当時の政府が地方を管理する上で重視した視点に当てはまらないものはどれですか。 (2017年 岐阜公立入試 類似)
1. その土地が農業に適しているかなどの肥沃の状態 2. 天皇の家系や中央政府の正統性を裏付ける国家の歴史 3. その土地で得られる動植物や鉱物などの産物の種類 4. 地名の由来や、古くからその地域に伝わっている伝説
- 問9 聖武天皇の時代に、当初は政府から弾圧されていた僧侶の行基が、後に高い位を与えられて大仏の造立に協力することになった理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 佐賀公立入試 類似)
1. 民衆の間で大きな影響力を持っており、大規模な工事に必要な人手や資金を集める役割を期待されたから 2. 遣唐使として唐に渡り、最新の建築技術や土木技術を日本に初めて持ち帰った功績が認められたから 3. 地方の国府や国分寺の周辺で発生した反乱を、仏教の教えを用いて鎮圧することに成功したから 4. 鎌倉時代に新仏教を興した開祖たちと同様に、厳しい修行を通じて国家の安泰を祈願したから
- 問10 8世紀前半、聖武天皇の時代に都の平城京を中心に栄えた、仏教と唐の文化の影響を強く受けた国際的な文化を何といいますか。 (2022年 岐阜公立入試 類似)
1. 天平文化 2. 飛鳥文化 3. 国風文化 4. 弘仁・貞観文化
- 問11 奈良時代、相次ぐ反乱や疫病の流行などの社会不安を取り除くため、聖武天皇が「仏教の力で国を治め、守る」という考えに基づき、東大寺に大仏を建立しました。このような当時の政治思想を何といいますか。 (2018年 三重公立入試 類似)
1. 鎮護国家 2. 浄土信仰 3. 神仏習合 4. 末法思想
- 問12 墾田永年私財法の制定が、その後の社会に与えた影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 沖縄公立入試 類似)
1. すべての土地と人民を天皇が直接支配する公地公民の制度がより厳格になった。 2. 貴族や寺社が財力を背景に大規模な開墾を行い、荘園と呼ばれる私有地が形成されるようになった。 3. 6歳以上の男女に口分田を与え、死後は国に返還させる班田収授法が全国で初めて実施された。 4. 豊田秀吉によって全国の土地の広さや質が調査され、土地の所有者が確定した。
- 問13 律令時代の税制について述べた次の文のうち、当時の農民にとって「都までの輸送」という大きな負担を伴った税の説明として正しいものを選びなさい。 (2016年 富山県公立入試 類似)
1. 収穫した稲の約3%を地方の国衙にある倉庫に納めるもの 2. 京での労働のかわりに、布を都へ納めるもの 3. 各地の特産物である絹や糸、布などを都へ直接納めるもの 4. 地方の国司のもとで、1年間に60日を限度に労働を行うもの
- 問14 律令制度下の税制において、都の跡から出土した木簡（荷札）には、アワビやサバ、塩といった全国各地の特産物が記されていました。このように、土地の産物を中央政府に納めることが義務付けられた税を何と呼びますか。 (2022年 広島公立入試 類似)
1. 租 2. 庸 3. 調 4. 雑徭

答え合わせ・解説

問1	答え 1 大伴家持	万葉集は長い年月をかけて歌が収集されましたが、最終的なまとめ役として大伴家持が重要な役割を果たしたと考えられています。柿本人麻呂などの宮廷歌人から地方の歌まで幅広く収録されている点が、後の時代の天皇の命令によって編纂された「勅撰和歌集」とは異なる大きな特色です。選択肢の紀貫之は平安時代の『古今和歌集』、藤原定家は鎌倉時代の『新古今和歌集』の編纂者として知られています。
問2	答え 1 収穫した稲の約3パーセントを、地方の役所に納める。	「租」は他の税と異なり、人に対してではなく「土地（口分田）」に対して課せられる性格を持っていました。また、庸や調が都まで運んで納めなければならない負担の重い税であったのに対し、租は収穫した稲をその地域の役所に納める形式がとられていました。選択肢にある労役の代納は「庸」、特産品の納入は「調」、地方での労働は「雑徭」の説明です。
問3	答え 1 戸籍に基づいて土地を分け与え、その収穫から一定の税を確実に徴収するため。	律令国家は、戸籍を作成することで人民の数と構成を把握し、それに基づき口分田を配分しました。これによって、農民に納税（租）の義務を負わせ、国家を運営するための財源を安定的に確保しようとしたのです。
問4	答え 1 班田収授法	大化の改新から律令国家の成立にかけて整備された土地制度です。すべての土地と人民は国家のものとする「公地公民」の原則に基づき、国民に生活の基盤となる田を与える一方で、そこから「租」などの税を徴収することを目的としていました。
問5	答え 1 防人（さきもり）	律令国家の軍事制度において、九州北部の太宰府を中心に、対外防衛のために配置された兵士です。主に東国の農民が徴兵されましたが、九州までの旅費や食費、武器などは自己負担であったため、農民にとって極めて重い負担となりました。なお、屯田兵は明治時代に北海道の警備と開拓にあたった兵士を指します。
問6	答え 1 西アジアやインドの文化が、陸上の交易路であるシルクロードを経て中国へ伝わり、それが遣唐使などの往来によって日本へもたらされた。	奈良時代の日本は遣唐使を派遣し、当時世界の中心の一つであった唐（中国）の文化を積極的に取り入れました。唐はシルクロードを通じて西アジアやインドと盛んに交流していたため、それらの地域の文化や物産が唐に集まっていました。日本は唐を経由することで、間接的に遠く離れた西アジアやインドの国際色豊かな文化（天平文化）を享受することができたのです。遣隋使による直接輸入や、当時の日本が西アジアと直接海路貿易を行っていたという事実は確認されていません。
問7	答え 1 最も広い範囲を「国（くに）」、その下に「郡（こおり）」、末端に「里（り）」を置いた。	大宝律令などに基づき、全国は「国（くに）」、その下の「郡（こおり）」、さらにその下の「里（り）」という単位で編成されました。国には国司、郡には郡司が置かれ支配が行われました。
問8	答え 2 天皇の家系や中央政府の正統性を裏付ける国家の歴史	風土記はあくまで地方ごとの自然環境や文化、資源を記録した「地理書」としての性格を持っています。天皇の系譜や国家の成り立ちといった公式な歴史をまとめたものは「古事記」や「日本書紀」であり、地方の状況を報告させる目的で作成された風土記とはその役割が区別されています。
問9	答え 1 民衆の間で大きな影響力を持っており、大規模な工事に必要な人手や資金を集める役割を期待されたから	聖武天皇は仏教の力で国を安定させようと大仏の造立を計画しましたが、それには膨大な労働力と寄付（資金）が必要でした。政府は、かつては弾圧していたものの、民衆から絶大な支持を受け、橋やため池の建設を指揮していた行基の協力なしには、この国家的な大事業を完遂できないと判断して彼を重用しました。
問10	答え 1 天平文化	奈良時代の代表的な文化で、遣唐使によってもたらされた唐の文化や仏教が深く結びついています。国際色が豊かであることが特徴であり、聖武天皇の時代にその最盛期を迎えました。
問11	答え 1 鎮護国家	聖武天皇は、天然痘の流行や政治的混乱が続く中、仏教の力によって国家の安泰を図ろうとしました。この思想を「鎮護国家」と呼び、これに基づいて全国に国分寺・国分尼寺が建立され、その総本山として都の平城京に東大寺が、そしてその本尊として大仏が造立されました。
問12	答え 2 貴族や寺社が財力を背景に大規模な開墾を行い、荘園と呼ばれる私有地が形成されるようになった。	墾田永年私財法の制定により、開墾した土地の永代私有が認められると、豊かな経済力を持つ中央の貴族や大寺社は、農民や浮浪者を利用して盛んに土地を切り開きました。こうして成立した大規模な私有地は荘園と呼ばれ、律令国家が理想とした公地公民制を崩壊させる要因となりました。
問13	答え 3 各地の特産物である絹や糸、布などを都へ直接納めるもの	「調」は地方の特産物を納める税であり、労役の代わりに布を納める「庸」とともに、都まで運搬して納める義務がありました。当時の交通事情では、これらを都へ運ぶための食料なども農民自身が負担する必要があったため、生活を圧迫する非常に重い負担となりました。一方で、収穫した稲を納める「租」は地方で保管・運用されました。
問14	答え 3 調	律令制度では、農民の負担として複数の税が定められていました。土地の面積に応じて稲を納める「租」に対し、その土地の特産物（海産物や繊維製品など）を都まで運んで納める税を「調」といいます。都の跡から見つかった木簡は、これらの品々が全国から集められ、貴族の食生活などを支えていたことを示す貴重な史料となっています。

- 問1 奈良時代の租税制度の一つである「調」について、その負担の仕組みを正しく説明しているものはどれですか。 (2019年 大分県公立入試 類似)
1. 口分田の収穫から約3%の稲を納めるもので、主に地方の役所の倉庫に保管された。
 2. 都での労役の代わりに布を納めるもので、都までの運搬費用は国が負担した。
 3. 地方の特産品を都まで直接運んで納めるもので、その運搬にかかる費用や食料は民衆の自己負担であった。
 4. 年間で60日を限度として、地方の国司の命令により土木工事などの労働に従事した。
- 問2 奈良時代に編纂された書物の説明として、内容とその目的の組み合わせが最も適切なものはどれですか。 (2021年 秋田県公立入試 類似)
1. 古事記は、神話や国の成り立ちを記すことで、天皇による統治の由来を明らかにしようとした。
 2. 風土記は、全国の優れた和歌を収集することで、貴族の教養を高めることを目的とした。
 3. 日本書紀は、各地方の産物や土地の様子を詳しく調査し、税の徴収を効率化するために作られた。
 4. 万葉集は、仏教の教えを広めるために、聖武天皇の時代に国ごとに作成が命じられた。
- 問3 古代の日本における地方統治の仕組みについて、日本海側の交通や軍事上の拠点として重要視された佐渡島に置かれた行政単位に関する説明として、正しいものを選びなさい。 (2018年 静岡公立入試 類似)
1. 五畿七道の北陸道に属する令制国として、島全体が「佐渡国」と定められた。
 2. 山陰道に属する令制国として、隠岐諸島とともに一つの行政単位を構成した。
 3. 西海道の一部として、九州地方の防衛を担う拠点の一つに位置づけられた。
 4. 東山道に属し、内陸部の信濃国や上野国と密接な行政関係を持っていた。
- 問4 当時の税制度において、農民の負担が極めて重かったとされる理由の一つに、都まで税を運ぶ際の手続きがあります。「調」や「庸」といった税を都まで運ぶ負担について、正しく説明しているものはどれですか。 (2020年 山口公立入試 類似)
1. 運脚と呼ばれ、農民自らが都まで運び、その道中の食料も自前で用意しなければならなかった。
 2. 地頭が徴収を代行し、幕府が指定した運送業者がまとめて都へ輸送した。
 3. 各国の国司が責任を持って輸送し、農民は自分の住む郡の役所に納めれば完了した。
 4. 蒸気船や鉄道などの交通インフラが未発達だったため、基本的には河川を用いた水運のみが利用された。
- 問5 古代の租税制度について述べた次の説明のうち、全国各地から平城京に集められた「調」の説明として正しいものはどれか。 (2021年 奈良公立入試 類似)
1. 口分田の面積に応じて、収穫した稲の一部を地方の役所に納める。
 2. 都での労働の代わりに、布を中央政府に納める。
 3. 九州北部の警備のために、防人として兵役につく。
 4. 各地の絹や魚といった特産品を、納税者が都まで運んで納める。
- 問6 古代において、東アジアと西アジアやインドを結び、物資や文化の交流を可能にした交易路がある。東大寺正倉院に収められた宝物にも、この交易路を通じてもたらされた西方の影響が見られるが、この道の名称として最も適切なものはどれか。 (2025年 青森県公立入試 類似)
1. 東海道
 2. シルクロード (絹の道)
 3. 中山道
 4. コロンブスの航路
- 問7 律令制度のもとで、都へ納めるべき「調」の品目として、各地の地理的条件に合わせて選ばれたものの組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2018年 香川公立入試 類似)
1. 海に近い国々からの塩や魚の干物、山間部からの絹や糸
 2. 各地の口分田から収穫された大量の稲や粟
 3. 都での土木工事や警備に従事するための労働力
 4. 外国との交易で得られた香料や貴金属
- 問8 古代の庶民の生活や食生活について記された資料において、当時の農民が置かれていた状況を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2021年 大分県公立入試 類似)
1. 戸籍に基づき国から口分田を与えられる一方で、死後はその土地を国に返す義務があり、重い税負担の中で質素な食生活を送っていた。
 2. 全国の土地の広さやよし悪しを調査され、収穫量を石高という単位で定められることで、年貢を納める対象として厳しく管理されていた。
 3. 政府から土地の所有権を認められる代わりに、地価の3%を現金で納めることになり、不作の際にも納税の負担が変わらず苦しんでいた。
 4. 地主から土地を強制的に買い上げた政府によって農地が安く売り渡され、自作農として自分の土地で自由に作物を作れるようになった。
- 問9 聖武天皇が東大寺の建立や大仏の造立を命じた奈良時代の中頃、深刻な土地不足を解消するために743年に出された法律があります。新しく開墾した土地を永久に自分のものにすることを認めた、この法律の名称を答えなさい。 (2018年 和歌山公立入試 類似)
1. 班田収授法
 2. 三世一身の法
 3. 墾田永年私財法
 4. 公事方御定書
- 問10 日本の仏教史において、奈良時代に行われた「国分寺・国分尼寺の建立」よりも後の時代に起こった出来事として適切なものはどれですか。 (2018年 香川公立入試 類似)
1. 加賀の一向一揆に代表されるように、浄土真宗の門徒が守護大名を倒して自治を行った
 2. 聖徳太子が十七条の憲法を制定し、その中で仏教を敬うよう示した
 3. 仏教が伝来した直後、崇仏派の蘇我氏と廃仏派の物部氏が激しく対立した
 4. 平城京内に大規模な寺院が立ち並び、僧侶が政治に深く関与するようになった
- 問11 七百年に平城京へ都が移ってから七百年九十四年に平安京へ都が移るまでの期間、当時の天皇が「鎮護国家の思想」に基づいて実施した政策として、正しいものはどれですか。 (2023年 高知公立入試 類似)
1. 国ごとに国分寺・国分尼寺を建立させ、都に大仏を造立した
 2. キリスト教の布教を禁止し、寺請制度によって民衆を寺院に登録させた
 3. 貴族の権力争いを防ぐため、武士を登用して警備を強化した
 4. 全国各地に神社を建て、天照大神を祀ることで国家の統一をはかった
- 問12 律令制における税制度のうち、「調」が当時の人々に与えた影響やその仕組みについて述べたものとして正しいものはどれですか。 (2023年 岩手県公立入試 類似)
1. 口分田の面積に応じて課されたため、土地を持っていない者は免除された。
 2. 主に男子に対して課され、特産物を都へ運ぶ際の食料も自己負担であったため、生活を圧迫した。
 3. 地方の特産物を現地の役所に預けるだけで完了したため、都へ行く必要はなかった。
 4. 成年女子に対してのみ課された税であり、布を織って納めることが一般的であった。
- 問13 8世紀の日本では、仏教の教えが広まる一方で、僧侶が守るべき厳格な規律が整っていないという課題がありました。この状況を改善するために、聖武天皇の招きに応じ、5度の渡航失敗や失明という苦難を乗り越えて唐から来日した高僧は誰ですか。 (2025年 神奈川県公立入試 類似)
1. 鑑真
 2. 行基
 3. 最澄
 4. 空海

答え合わせ・解説

問1	答え 3 地方の特産品を都まで直接運んで納めるもので、その運搬にかかる費用や食料は民衆の自己負担であった。	律令制下の税のうち、「租」は収穫した稲を地方の倉庫に納めるものでしたが、「調」や「庸」は遠く離れた都まで歩いて運搬して納める必要がありました。この運搬にかかる費用や道中の食料はすべて納税者本人が負担しなければならず、当時の民衆にとって肉体的・経済的に非常に重い負担となっていました。選択肢にある稲の徴収は「租」、労役の代わりに布は「庸」、地方での労働は「雑徭」の説明です。
問2	答え 1 古事記は、神話や国の成り立ちを記すことで、天皇による統治の由来を明らかにしようとした。	古事記は、当時の天皇が日本を治める正当性を示すために、古い伝承や神話を整理してまとめられた歴史書です。選択肢にある「地方の産物や土地の様子」を記したのは風土記であり、「和歌を収集」したのは万葉集です。それぞれの書物は、律令国家としての体制を整える中で、文化や政治的な意図を持って作成されました。
問3	答え 1 五畿七道の北陸道に属する令制国として、島全体が「佐渡国」と定められた。	佐渡国は古代の律令制下において、島全体が独立した「国」として扱われました。地理的には日本海沿岸の国々を結ぶ北陸道のルート上にあり、現在の新潟県にあたります。他の選択肢について、隠岐は山陰道、対馬などは西海道、信濃や上野は東山道に属しており、地理的・行政的な区分が異なります。
問4	答え 1 運脚と呼ばれ、農民自らが都まで運び、その道中の食料も自前で用意しなければならなかった。	「調」や「庸」は、農民の中から選ばれた「運脚（うんきゃく）」が、徒歩で都まで運ぶ規定になっていました。この道中の食料（道糧）は農民自身の負担であったため、都に着くまでに食料が尽きて行き倒れる者が続出するなど、生産物の納入以上に、その「輸送コスト」が農民にとって過酷な負担となっていました。中世の地頭による徴収や、近代の交通機関とは時代背景が異なります。
問5	答え 4 各地の絹や魚といった特産品を、納税者が都まで運んで納める。	律令制度下の「調」は、地方ごとの特産物を都に届ける義務を指します。都の役人の給与や儀式の費用、国家の資材として利用されました。選択肢にある「稲の一部を納める」のは租、「労役の代わりに布」は庸、「九州北部の警備」は防人をそれぞれ指しており、制度ごとに納める品目や場所、目的が明確に区分されていました。
問6	答え 2 シルクロード（絹の道）	奈良時代の天平文化は、遣唐使によってもたらされた唐の文化の影響を強く受けているが、当時の唐は西アジアやインドなどとの交流が盛んであった。この東西交流を支えた内陸の交易路は、中国の特産品である絹が多く運ばれたことから「シルクロード（絹の道）」と呼ばれる。正倉院には、この道を経て伝わったガラス容器や楽器などが収蔵されており、国際色豊かな特徴を示している。「東海道」は江戸時代に整備された日本の五街道の一つであり、時代や場所が異なる。
問7	答え 1 海に近い国々からの塩や魚の干物、山間部からの絹や糸	「調」はその土地の産物を納める制度であり、繊維製品（絹、糸、布など）のほか、塩、海産物、鉄、漆などの特産品が指定されていました。これらは都に送られた後、役人の給与や政府の運営費用に充てられました。稲を納めるのは「租」、労働の代わりに布を納めるのは「庸」であり、特産品を基本とする「調」とは区別されます。
問8	答え 1 戸籍に基づき国から口分田を与えられる一方で、死後はその土地を国に返す義務があり、重い税負担の中で質素な食生活を送っていた。	班田収授法によって農民には土地が与えられましたが、同時に租・庸・調や防人などの重い負担が課せられていました。当時の庶民の食事は、玄米の粥やわずかな副菜、塩などが中心の極めて質素なものであったことが、当時の記録や研究から明らかになっています。他の選択肢は、安土桃山時代の太閤検地、明治時代の地租改正、戦後の農地改革の説明です。
問9	答え 3 墾田永年私財法	人口の増加に伴って、政府が農民に与える口分田が不足したため、政府は開墾を促す必要に迫られました。当初は三世代にわたる所有を認める「三世一身の法」を出しましたが、期限が来ると土地が国に没収されるため、農民の意欲が続きませんでした。そこで、期限を設けず永久に所有できるこの法律を制定しました。
問10	答え 1 加賀の一向一揆に代表されるように、浄土真宗の門徒が守護大名を倒して自治を行った	聖武天皇による国分寺・国分尼寺の建立は8世紀（奈良時代）のことです。これに対し、加賀の一向一揆は15世紀（室町時代）の出来事であるため、時系列では後になります。聖徳太子の活動や仏教伝来に伴う勢力争いは飛鳥時代の出来事であり、平城京の寺院が政治に関与したのは奈良時代そのものの特徴です。
問11	答え 1 国ごとに国分寺・国分尼寺を建立させ、都に大仏を造立した	聖武天皇は、仏教による国家の安定を具体化するため、全国の諸国に国分寺・国分尼寺を建てることを命じました。また、その総本山的な役割を果たす東大寺を都に建設し、巨大な盧舎那仏（大仏）を造立することで、仏教の加護を受けようとした。
問12	答え 2 主に男子に対して課され、特産物を都へ運ぶ際の食料も自己負担であったため、生活を圧迫した。	調は成年男子（正丁・中男）に課せられた税です。単に産物を納めるだけでなく、遠方の都まで自分の足で運び、往復の食料も自分で用意しなければなりません。この過酷な負担から逃れるために、戸籍を偽って「女」として登録する「偽籍（ぎせき）」などの行為が広がる原因の一つとなりました。なお、土地の面積に応じて課されたのは「租」です。
問13	答え 1 鑑真	当時の日本には僧侶が正式な資格を得るための「戒律」を受けける仕組みが不足していました。唐の僧である鑑真は、この戒律を伝えるために日本へ渡り、東大寺に戒壇（戒律を受けける場所）を設けました。これにより、国家公認の僧侶としての質を維持する制度が確立されました。選択肢にある行基は民衆への布教や社会事業、最澄と空海は平安時代初期に新しい仏教を伝えた人物です。

問1 聖武天皇が「大仏造立の詔（みことのり）」を出した目的と、その後の社会への影響について説明した文として最も適切なものはどれですか。

（2023年 鳥取公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 仏教の力で社会の不安を払拭しようと考え、国家的な大事業を通じて中央集権体制の強化を図った。 | 2. 遣唐使を廃止して日本独自の文化を発展させるため、大陸の影響を受けない巨大な建造物を計画した。 | 3. 班田収授法を廃止して私有地を認める代わりに、農民から寄付を募って寺院を建立させた。 | 4. 蘇氏などの有力豪族の勢力を抑えるため、天皇自らが僧侶となって政治の全権を握ることを宣言した。 |
|--|---|--|---|

問2 奈良時代、人口の増加によって公地公民の原則に基づく口分田が不足したため、政府は開墾を奨励しました。743年に出された、新しく開墾した土地を永久に自らのものにすることを認める法令の名称を答えなさい。

（2019年 新潟県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 墾田永年私財法 | 2. 三世一身の法 | 3. 班田収授の法 | 4. 公地公民の制 |
|------------|-----------|-----------|-----------|

問3 奈良時代の天平文化の特徴について、当時の国際情勢や文化交流の観点から説明したものとして正しいものを選びなさい。

（2022年 新潟県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|-------------------------------------|--|--|
| 1. 遣唐使がもたらした唐の文化の影響を強く受け、国際色豊かな特色を持っている。 | 2. 武士の精神を反映した、素朴で力強い文化が鎌倉を中心に展開された。 | 3. 遣唐使の廃止によって唐との交流が途絶えたため、日本独自の優雅な国風文化が生まれた。 | 4. 禅宗の影響を強く受け、水墨画や茶の湯などの質素な美を尊ぶ文化が形成された。 |
|--|-------------------------------------|--|--|

問4 奈良時代の東大寺の大仏造立に関する記述として、当時の資源供給の背景を踏まえたものとして最も適切なものはどれですか。

（2023年 鳥取公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 現在の山口県にある長登銅山から産出された銅が、大仏の主要な原料として使用された。 | 2. 朝鮮半島から輸入された大量の銅を主原料として、最新の渡来技術によって造られた。 | 3. 天武天皇が全国の豪族に命じて、各家庭に眠っていた銅製品を回収して原料とした。 | 4. 聖徳太子が飛鳥寺を建立した際の余った銅を、平城京まで運んで再利用した。 |
|---|--|---|--|

問5 奈良時代、聖武天皇の招きに応じて唐から日本へ渡ろうとし、5度の失敗と失明を乗り越えて来日を果たした僧侶は誰ですか。両目を閉じ、静かに座った姿の彫像が安置されている、彼が建立した唐招提寺の歴史的背景をもとに答えなさい。

（2025年 島根公立入試 類似）

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 鑑真 | 2. 行基 | 3. 道鏡 | 4. 空海 |
|-------|-------|-------|-------|

問6 奈良時代、聖武天皇は社会の混乱を鎮めるため、仏教の力で国家の安泰をはかろうとしました。この考え方を何といいますか。

（2015年 佐賀公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 鎮護国家 | 2. 律令政治 | 3. 神仏習合 | 4. 天平文化 |
|---------|---------|---------|---------|

問7 律令制における税制度のうち、「調」が当時の人々に与えた影響やその仕組みについて述べたものとして正しいものはどれですか。

（2023年 岩手県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------------------------------------|---|---|---|
| 1. 口分田の面積に応じて課されたため、土地を持っていない者は免除された。 | 2. 主に男子に対して課され、特産物を都へ運ぶ際の食料も自己負担であったため、生活を圧迫した。 | 3. 地方の特産物を現地の役所に預けるだけで完了したため、都へ行く必要はなかった。 | 4. 成年女子に対してのみ課された税であり、布を織って納めることが一般的であった。 |
|---------------------------------------|---|---|---|

問8 奈良時代末期にまとめられた日本最古の和歌集であり、天皇や貴族といった特権階級だけでなく、防人（さきもり）や農民といった庶民の歌まで幅広く収められている作品として、最も適切なものを選択肢から選びなさい。

（2018年 和歌山公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|----------|---------|--------|
| 1. 万葉集 | 2. 古今和歌集 | 3. 日本書紀 | 4. 風土記 |
|--------|----------|---------|--------|

問9 律令時代の政治体制において、地方を統治するために中央から派遣された「国司」の説明として、その役割と背景を正しく述べているものはどれですか。

（2023年 福岡県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 中央政府から派遣され、現地の有力豪族が任命された郡司を指揮して、地方の行政・司法・徴税を司った。 | 2. 鎌倉幕府によって国ごとに設置され、主に軍事や警察の役割を担い、国内の武士を統制した。 | 3. 荘園や公領の管理のために幕府から任命され、年貢の徴収や土地の管理、治安維持を行った。 | 4. 明治維新後の廃藩置県により、中央政府から各県に派遣されて地方行政の最高責任者となった。 |
|---|---|---|--|

問10 奈良時代の文化的な特色を示す事例として、正倉院に収蔵されている「瑠璃坏（るりのつき）」と呼ばれるガラス製の器があります。このような宝物が現代にまで残されていることは、当時の文化のどのような側面を象徴しているか、最も適切な説明を選びなさい。

（2026年 三重公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 遣唐使やシルクロードを通じて、遠く西アジアなどの文化までが流入した国際的な側面 | 2. かな文字の成立に代表されるように、日本の風土や日本人の感情に合わせた国風の側面 | 3. 浄土信仰の広まりにより、平等院鳳凰堂に代表されるような極楽浄土を夢見る貴族的な側面 | 4. 地方の豪族が独自に大陸と交易を行い、それぞれの地域で仏教文化を独自に発展させた側面 |
|--|--|--|--|

問11 万葉集の編纂に深く関わったとされる人物は誰ですか。この人物自身の歌も多く収録されており、また和歌集全体としては、柿本人麻呂が現在の香川県坂出市に立ち寄って詠んだ歌など、全国各地を舞台とした作品が収められています。

（2020年 鳥取公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|--------|---------|---------|
| 1. 大伴家持 | 2. 紀貫之 | 3. 藤原定家 | 4. 山上憶良 |
|---------|--------|---------|---------|

問12 班田収授法において、与えられた「口分田」をその人が亡くなった際に必ず国へ返還させると定められた、最も大きな理由として考えられるものはどれですか。

（2023年 愛媛公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. すべての土地と人民は国家のものであるという「公地公民」の原則を維持し、税収の基盤を確保し続けるため。 | 2. 農民に土地を私有させることで、特定の有力者に土地が集中し、国家が税を取れなくなるのを防ぐため。 | 3. 墾田永年私財法によって私有地が増えすぎたため、国家が土地を強制的に回収して再分配する必要があったため。 | 4. 六歳以上の子供に均等に土地を分ける際、土地が不足しないよう常に空き地を確保しておく必要があったため。 |
|---|--|--|---|

問13 律令制に基づき地方に派遣された「国司」の役割について、その内容として正しいものはどれですか。

（2026年 長野公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|---------------------------------------|
| 1. 中央政府の代表として、派遣された土地で徴税や裁判などの地方行政を統括する役割 | 2. 地方の有力豪族が任命され、国司の指示を受けながら郡レベルの行政実務を行う役割 | 3. 九州北部の防衛や外国との交渉を専門に担当し、地方行政から独立した組織を運営する役割 | 4. 地方の治安維持のみを専門に行い、行政や徴税には関与しない軍事的な役割 |
|---|---|--|---------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 仏教の力で社会の不安を払拭しようと考え、国家的な大事業を通じて中央集権体制の強化を図った。	聖武天皇は、地震や天然痘の流行といった国難を仏教の信仰によって乗り越えようとしてしました。この巨大プロジェクトには膨大な労働力と物資が投入され、山口県の長登銅山から銅を運ぶなど、全国規模の協力体制が敷かれることで、天皇を中心とする国家体制が象徴されました。
問2	答え 1 墾田永年私財法	人口増加に伴う土地不足を解消するため、政府は723年に「三世一身の法」を出して三世代にわたる私有を認めましたが、期限が近づくと土地が荒廃するという問題が生じました。そこで743年にこの「墾田永年私財法」を制定し、開墾した土地を期限なく永久に私有財産にすることを認め、農地の拡大を図りました。
問3	答え 1 遣唐使がもたらした唐の文化の影響を強く受け、国際色豊かな特色を持っている。	天平文化は、遣唐使によってもたらされた唐の高度な文化や仏教の影響を強く受けています。当時の唐は西アジアなどとも交流があったため、正倉院の宝物にはペルシャ風の意匠が見られるなど、国際色豊かな（国際性豊かな）文化であったことが特徴です。一方で、国風文化は平安時代中期以降、水墨画などの文化は室町時代以降の特色であるため混同しないよう注意が必要です。
問4	答え 1 現在の山口県にある長登銅山から産出された銅が、大仏の主要な原料として使用された。	山口県的美祢市にある長登銅山跡からは、奈良時代の製錬遺構や木簡が見つかっており、ここから産出された銅が東大寺の大仏の原料となったことが科学的な分析によっても裏付けられています。大規模な大仏の造立には、地方からの資源供給が不可欠でした。
問5	答え 1 鑑真	鑑真は唐の時代の高僧で、日本の仏教の秩序を整えるために必要な「戒律」を伝える目的で来日しました。当時の航海は命がけであり、何度も遭難を繰り返して視力を失いましたが、不屈の精神で来日を成功させました。平城京に唐招提寺を建立し、日本の仏教の発展に大きく貢献しました。
問6	答え 1 鎮護国家	奈良時代の中頃、天然痘の流行や政治的な対立による反乱が相次ぎ、社会が不安定になりました。聖武天皇は、仏教の教えによってこれらの災いから国を守り、平和をもたらそうとする「鎮護国家」の思想に基づき、全国的な仏教政策を推し進めました。
問7	答え 2 主に男子に対して課され、特産物を都へ運ぶ際の食料も自己負担であったため、生活を圧迫した。	調は成年男子（正丁・中男）に課せられた税です。単に産物を納めるだけでなく、遠方の都まで自分の足で運び、往復の食料も自分で用意しなければなりません。この過酷な負担から逃れるために、戸籍を偽って「女」として登録する「偽籍（ぎせき）」などの行為が広がる原因の一つとなりました。なお、土地の面積に応じて課されたのは「租」です。
問8	答え 1 万葉集	奈良時代の文化を代表するこの作品には、約4500首もの和歌が収録されています。編纂には大伴家持が深く関わったとされ、当時の人々の素朴で力強い感情が、漢字の音や訓を借りて日本語を表記する「万葉仮名」を用いて記されています。特に、遠く九州の警備に赴いた人々による「防人の歌」などは、当時の民衆の暮らしや心情を知る貴重な史料となっています。
問9	答え 1 中央政府から派遣され、現地の有力豪族が任命された郡司を指揮して、地方の行政・司法・徴税を司った。	律令制における地方統治は、中央から派遣される「国司」と、地元の有力者が任命される「郡司」の二段構えになっていました。国司は中央の意向を地方に反映させる役割を担い、実務に詳しい郡司を指揮することで統治の安定を図りました。他の選択肢は、時代が異なる守護（鎌倉時代）、地頭（鎌倉時代）、県令（明治時代）の説明です。
問10	答え 1 遣唐使やシルクロードを通じて、遠く西アジアなどの文化までが流入した国際的な側面	正倉院には聖武天皇ゆかりの品々が納められていますが、そこには唐の製品だけでなく、ペルシャ（イラン）など西アジアに由来する意匠や技法を用いた宝物が含まれています。これは、当時の日本が唐を中心とした国際交流ネットワークの中に組み込まれており、世界各地の文化が流入していたことを示しています。選択肢にある国風文化や浄土信仰に基づく建築などは、のちの平安時代の特色です。
問11	答え 1 大伴家持	万葉集は長い年月をかけて歌が収集されましたが、最終的なまとめ役として大伴家持が重要な役割を果たしたと考えられています。柿本人麻呂などの宮廷歌人から地方の歌まで幅広く収録されている点が、後の時代の天皇の命令によって編纂された「勅撰和歌集」とは異なる大きな特色です。選択肢の紀貫之は平安時代の『古今和歌集』、藤原定家は鎌倉時代の『新古今和歌集』の編纂者として知られています。
問12	答え 1 すべての土地と人民は国家のものであるという「公地公民」の原則を維持し、税収の基盤を確保し続けるため。	班田収授法は、土地は国家からの貸与品であるという立場をとっています。一代限りの貸与とすることで、土地が世襲されて私有地化するのを防ぎ、国が直接人民から租税を徴収し続ける体制を維持しようとした。しかし、のちには人口増加による土地不足や、農民が負担に耐えかねて逃亡するなどの問題が生じ、この制度は行き詰まることになります。
問13	答え 1 中央政府の代表として、派遣された土地で徴税や裁判などの地方行政を統括する役割	国司は、都から派遣されて地方行政の全般を担う最高責任者でした。主な仕事は、戸籍の作成やそれに基づく口分田の班給、租・庸・調といった税の徴収、さらには裁判など多岐にわたります。これにより、中央の律令政府は全国に法と秩序を及ぼそうとしました。選択肢にある「地方の有力豪族が任命された」のは郡司であり、「九州北部の防衛」を担当したのは主に防人や太宰府の役人です。

- 問1 奈良時代に政府の命令によって編纂された『風土記』の内容や目的について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 鳥取公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 中央政府が地方の資源や文化を把握するため、各地の産物や地名の由来、伝承などを記録させた。 | 2. 天皇の位の正当性を示すため、神話から続く国家の成り立ちを編年体で記述した。 | 3. 仏教による鎮護国家を目指し、各地に建立された国分寺の歴史や由来をまとめた。 | 4. 租・庸・調などの税率を決定するため、全国の戸籍とあわせて土地の面積を詳細に記録した。 |
|---|--|--|---|
- 問2 奈良時代の天平文化の特徴について、当時の国際情勢や文化交流の観点から説明したものとして正しいものを選びなさい。 (2022年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|-------------------------------------|--|--|
| 1. 遣唐使がもたらした唐の文化の影響を強く受け、国際色豊かな特色を持っている。 | 2. 武士の精神を反映した、素朴で力強い文化が鎌倉を中心に展開された。 | 3. 遣唐使の廃止によって唐との交流が途絶えたため、日本独自の優雅な国風文化が生まれた。 | 4. 禅宗の影響を強く受け、水墨画や茶の湯などの質素な美を尊ぶ文化が形成された。 |
|--|-------------------------------------|--|--|
- 問3 聖武天皇が「鎮護国家」の思想に基づいて全国に展開した政策として、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 佐賀公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|---|
| 1. 全国の諸国ごとに国分寺・国分尼寺を建て、都の東大寺には大仏を造った | 2. 平安京に東寺と西寺を建て、全国の主要な山々に修験道の道場を開いた | 3. 地方の豪族を郡司に任命し、各地の神社を管理させる制度を整えた | 4. 遣唐使を派遣して最新の儒教を取り入れ、官僚養成のための大学を全国に作った |
|--------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|---|
- 問4 奈良時代の中頃、聖武天皇は、社会の混乱を鎮めるために仏教の力によって国家の安泰をはかろうとしました。このような考え方を何といいいますか。 (2023年 高知公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------|---------|---------|
| 1. 鎮護国家の思想 | 2. 末法思想 | 3. 浄土信仰 | 4. 神仏習合 |
|------------|---------|---------|---------|
- 問5 聖武天皇が、都に東大寺を、全国各地に国分寺・国分尼寺を建立するなどの大規模な造営事業を次々と進めた背景にある目的や理由について、最も深く関連する説明を選んでください。 (2016年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 伝染病の流行や政治の対立による社会的な動揺を、仏教の力によって抑え込み、国家の平和を祈るため。 | 2. 地方の豪族たちの信仰を強制的に統一し、中央集権的な戸籍制度を強化するための役所として機能させるため。 | 3. シルクロードを通じてもたらされた唐の最新の建築技術を、民衆に見せつけることで天皇の威信を高めるため。 | 4. 比叡山や高野山などの山岳信仰と結びついた新しい仏教を、都市部から排除して国家の管理下に置くため。 |
|--|---|---|---|
- 問6 律令制度のもとでは、農民に対して「租・調・庸」などの重い負担が課されていました。万葉集に収められた山上憶良の「貧窮問答歌」には、里長（さとのおさ）が税の取り立てにやってきて、厳しい声をあげる様子や、衣類も満足にない中で子供たちが泣きつく悲惨な生活が描かれています。当時のこうした負担の内容について、正しく述べたものはどれですか。 (2016年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 口分田の収穫から一定割合の米を納める租のほか、地方の特産物を納める調、都での労働の代わりに布を納める庸などが課された。 | 2. 「惣」と呼ばれる村の自治組織が作られ、村全体で一括して年貢を納める仕組みが取られたが、凶作の際には免除された。 | 3. 近隣の5軒を「五人組」として組織し、税の納入や犯罪に対して連帯責任を負わせることで、確実な徴収が行われた。 | 4. 国民の義務として「小学校」への就学が命じられ、その教育費を捻出するために、米ではなく現金で納税することが義務付けられた。 |
|--|--|--|---|
- 問7 律令時代の戸籍に関する統計資料において、ある地域の登録者の大半が女性として記録され、男性の割合が不自然に低くなっている事例が見られます。このように性別や年齢を偽って登録が行われた最大の目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 徳島公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|--------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| 1. 兵役や労役、庸・調といった重い税の負担を免れるため | 2. 貴族の荘園で働くための労働力を確保するため | 3. 班田収授法によってより多くの口分田を受け取るため | 4. 都から地方へ移住する際の許可を得やすくするため |
|------------------------------|--------------------------|-----------------------------|----------------------------|
- 問8 飛鳥時代後期から行われた、戸籍に登録された人々に口分田を分け与え、その人が死ぬと国に返還させた土地制度はどれか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|------------|----------|-----------|
| 1. 班田収授法 | 2. 墾田永年私財法 | 3. 公地公民制 | 4. 三世一身の法 |
|----------|------------|----------|-----------|
- 問9 律令国家の政治組織において、中央には神祇官や太政官が置かれていましたが、地方の九州には「大宰府」という特別な機関が置かれました。この大宰府が、東アジアの国々に対して担っていた主な役割の説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2018年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 外国使節の接待などの外交や、大陸からの侵攻に備える防衛の拠点としての役割 | 2. 農民から租・庸・調などの税を徴収し、中央へ送るための徴税の拠点としての役割 | 3. 各国の戸籍を作成し、土地の分配や裁判を管理する地方行政の拠点としての役割 | 4. 全国の国分寺を統括し、仏教の教えによって国家を鎮める宗教の拠点としての役割 |
|---|--|---|--|
- 問10 律令国家の形成と変化について述べた次の記述のうち、出来事の時期が古い順に並んでいるものはどれですか。対象となる出来事は「大宝律令の制定」「墾田永年私財法の制定」「平安京への遷都」の3点とします。 (2020年 沖縄公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 大宝律令の制定 → 墾田永年私財法の制定 → 平安京への遷都 | 2. 大宝律令の制定 → 平安京への遷都 → 墾田永年私財法の制定 | 3. 墾田永年私財法の制定 → 大宝律令の制定 → 平安京への遷都 | 4. 平安京への遷都 → 墾田永年私財法の制定 → 大宝律令の制定 |
|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
- 問11 奈良時代の税制において、現在の島根県にあたる地域から、出雲の絹布や絹糸、石見の紙、隠岐のアワビやイカといった「その土地の産物」が都に納められていたことを示す記録があります。このような、各地の特産品を中央政府に納める税を何といいますか。 (2024年 島根公立入試 類似)
- | | | | |
|------|------|------|-------|
| 1. 租 | 2. 庸 | 3. 調 | 4. 防人 |
|------|------|------|-------|
- 問12 奈良時代の8世紀半ば、聖武天皇が多額の費用と労働力を投じて大仏の造立や国分寺の建立を進めた背景にある目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 沖縄公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------------|---------------------------------------|--|
| 1. 仏教を国家の教えとして広めることで、疫病や社会不安による混乱を鎮めるため | 2. 有力な貴族たちの財産や権力を抑制し、天皇による独裁体制を強化するため | 3. 他国からの軍事的侵略を防ぐため、寺院を軍事的な要塞として利用するため | 4. 急速に普及していたキリスト教に對抗し、日本の伝統的な神道を保護するため |
|---|---------------------------------------|---------------------------------------|--|
- 問13 奈良時代、聖武天皇の時代を中心に栄えた文化について、遣唐使などの往来を通じて西アジアやペルシアなどの影響を強く受けた、国際色豊かな特色を持つ文化の名称として正しいものを選択してください。 (2019年 岡山公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 天平文化 | 2. 国風文化 | 3. 化政文化 | 4. 飛鳥文化 |
|---------|---------|---------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 中央政府が地方の資源や文化を把握するため、各地の産物や地名の由来、伝承などを記録させた。	律令国家としての体制を整える過程で、政府が地方の自然環境、経済資源、そして地元の伝統文化を正確に把握するために作成を命じた地理書です。単なる事務的な報告にとどまらず、その土地に伝わる伝説なども含まれている点が大きな特徴です。
問2	答え 1 遣唐使がもたらした唐の文化の影響を強く受け、国際色豊かな特色を持っている。	天平文化は、遣唐使によってもたらされた唐の高度な文化や仏教の影響を強く受けています。当時の唐は西アジアなどとも交流があったため、正倉院の宝物にはペルシャ風の意匠が見られるなど、国際色豊かな（国際性豊かな）文化であったことが特徴です。一方で、国風文化は平安時代中期以降、水墨画などの文化は室町時代以降の特色であるため混同しないよう注意が必要です。
問3	答え 1 全国の諸国ごとに国分寺・国分尼寺を建て、都の東大寺には大仏を造った	聖武天皇は、都である平城京の東大寺に総国分寺としての役割を持つ大仏を建立するとともに、地方の各国には国分寺と国分尼寺を設置させました。肥前国などの地方の国分寺跡からは、当時使われていた瓦なども出土しており、この政策が全国規模で行われたことが裏付けられています。
問4	答え 1 鎮護国家の思想	聖武天皇の時代には、疫病の流行や政治的な混乱が続いていました。天皇はこれらを仏教の力で解決しようと考え、この思想に基づいて全国に寺院を建立するなどの政策を推し進めました。仏教を国家の統治に利用しようとした点が特徴です。
問5	答え 1 伝染病の流行や政治の対立による社会的な動揺を、仏教の力によって抑え込み、国家の平和を祈るため。	聖武天皇の時代は、藤原広嗣の乱などの政治的混乱や、多くの死者を出した天然痘の流行、大地震などの災害が重なった時期でした。天皇はこれらの災厄を個人的な不徳によるものと考え、仏教の力に頼ることで社会を安定させ、人々の不安を取り除こうとする「鎮護国家」の政策を強力に推進しました。
問6	答え 1 口分田の収穫から一定割合の米を納める租のほか、地方の特産物を納める調、都での労働の代わりに布を納める庸などが課された。	律令国家の財政を支えるため、農民には多大な負担がありました。主に口分田の面積に応じて米を納める「租」、各地の特産物（絹や海産物など）を都まで運んで納める「調」、都での労役の代わりに布を納める「庸」がありました。これらに加えて、九州の警備にあたる防人（さきもり）などの「兵役」もあり、自分の食料を自ら用意して都や防衛地まで向かわなければならなかったため、農民の生活は「貧窮問答歌」に描かれるように極めて困窮していました。
問7	答え 1 兵役や労役、庸・調といった重い税の負担を免れるため	当時の税制度では、男性には都での労役である庸や、地方特産物を納める調、さらには防人などの兵役や地方での土木作業（雑徭）といった厳しい義務が課せられていました。一方で、女性にはこれらの負担がほとんどなかったため、戸籍を操作して男性を女性と偽る「偽籍」が横行しました。統計上の男女比が極端に偏っている事実は、当時の農民がいかに過酷な負担から逃れようとしていたかを物語っています。
問8	答え 1 班田収授法	唐の均田制にならって導入された制度であり、6歳以上の男女に口分田が班給された。これにより国家が土地と人民を直接支配し、税収を確保しようとした。墾田永年私財法は後に土地の私有を認めた法であり、この制度の崩壊につながった。
問9	答え 1 外国使節の接待などの外交や、大陸からの侵攻に備える防衛の拠点としての役割	九州は地理的に大陸や朝鮮半島に近いため、大宰府は単なる地方行政機関としての機能だけでなく、唐や新羅からの使節を迎え入れる「外交」の窓口としての役割を果たしました。また、白村江の戦いでの敗北後などは、大陸側からの攻撃を想定した「防衛」の要としての機能も極めて重要視されました。
問10	答え 1 大宝律令の制定 → 墾田永年私財法の制定 → 平安京への遷都	701年に大宝律令が制定されて律令国家の仕組みが整い、その後、人口増加による土地不足を解消するため743年に墾田永年私財法が制定されました。そして8世紀末の794年に、政治の刷新を目指して平安京への遷都が行われました。これらの流れは律令体制が確立した後に、土地制度の変化などを経て平安時代へと移行していく過程を示しています。
問11	答え 3 調	奈良時代の律令制度のもとでは、民衆に対して様々な税が課せられました。このうち、布や紙、各地の海産物といった「地方の特産品」を都まで運んで納める制度を「調」と呼びます。現在の島根県（出雲・石見・隠岐）から納められた品々が多様であるように、全国各地の地理的特性に応じた物品が徴収され、都の貴族の給与や政府の運営費用に充てられました。
問12	答え 1 仏教を国家の教えとして広めることで、疫病や社会不安による混乱を鎮めるため	当時の記録（年表上の項目など）によれば、この時期は感染症の流行によって多くの命が失われ、政治的な対立も続いていました。聖武天皇は、人々の心のよりどころを仏教に求め、国家が主体となって仏教を奨励することで、社会を平穏に導こうと試みました。これは、単なる個人の信仰を超えた、国の統治政策の一環でした。
問13	答え 1 天平文化	聖武天皇の時代には遣唐使が頻繁に派遣され、唐の優れた制度や仏教とともに、シルクロードを経由して西アジアの意匠や技術が日本にもたらされました。この時期の文化は、当時の都である平城京を中心に展開され、仏教的・国際的な色合いを強く帯びているのが特徴です。